

3 調査結果：0歳～小学校未就学の子どもへの保護者

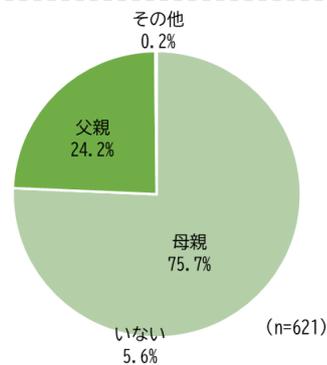
本章では、調査1（0歳～小学校未就学の子どもへの保護者を対象とした調査）の結果を示す。

(1) 回答者

- 調査回答者は、母親が 75.7%、父親が 24.2%となっている。
- 配偶者は「いる」が 94.4%となっている。
- 回答者の年齢は、30 歳代の割合が 57.9%で最も高く、次いで 40 歳代が 27.7%、20 歳代が 12.9%となっている。

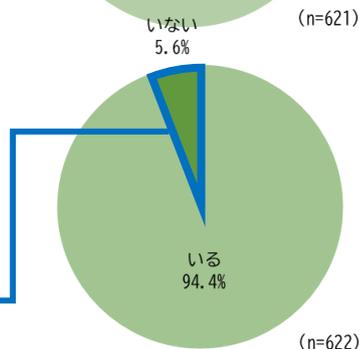
図表 1 調査回答者

	人数	割合(%)
母親	470	75.7
父親	150	24.2
その他	1	0.2
合計	621	100.0



図表 2 配偶者の有無

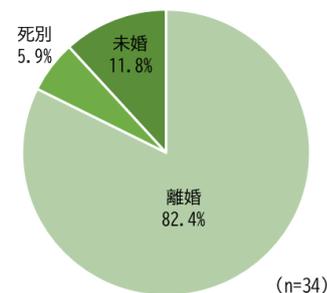
	人数	割合(%)
いる	587	94.4
いない	35	5.6
合計	622	100.0



回答対象者：配偶者がいない人

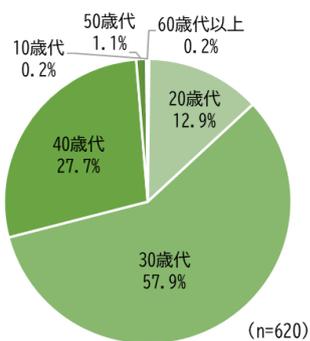
図表 3 配偶者無しの内訳

	人数	割合(%)
離婚	28	82.4
死別	2	5.9
未婚	4	11.8
合計	34	100.0



図表 4 年齢

	人数	割合(%)
10歳代	1	0.2
20歳代	80	12.9
30歳代	359	57.9
40歳代	172	27.7
50歳代	7	1.1
60歳代以上	1	0.2
合計	620	100.0



- 小諸市の居住年数の割合は、5～10年未満が24.4%で最も高い。10年以上居住している人は、42.9%、5年未満の人が32.7%となっている。

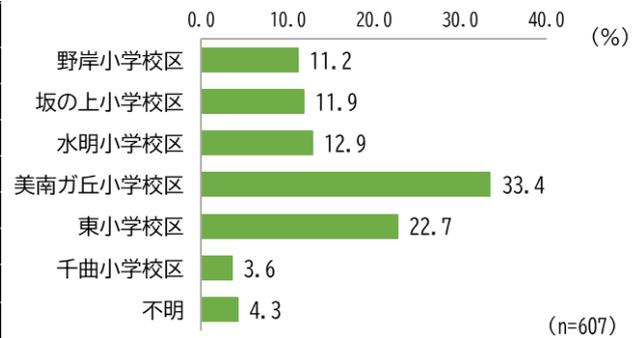
図表 5 小諸市の居住年数

	人数	割合(%)
1年未満	24	3.9
1～3年未満	88	14.2
3～5年未満	90	14.6
5～10年未満	151	24.4
10～30年未満	140	22.7
30年以上	125	20.2
合計	618	100.0



図表 6 居住地区

	人数	割合(%)
野岸小学校区	68	11.2
坂の上小学校区	72	11.9
水明小学校区	78	12.9
美南ガ丘小学校区	203	33.4
東小学校区	138	22.7
千曲小学校区	22	3.6
不明	26	4.3
合計	607	100.0

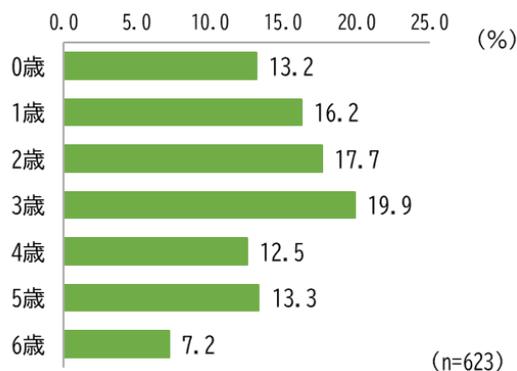


(2) 子どもとその家族の状況

- あて名の子どもの年齢は、3歳の割合が最も高く19.9%である。
- あて名の子どもの性別は、男児が52.3%、女児が47.7%である。
- 子どもの人数は、「2人」の割合が43.4%で最も高く、次いで「1人」が38.7%、「3人」が13.7%である。
- 一番下の子どもの年齢は、「3歳」の割合が18.7%で最も高かった。

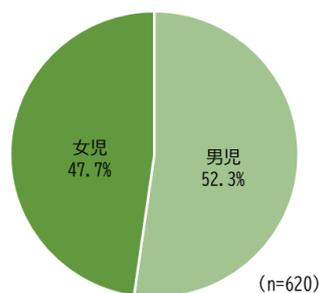
図表 7 あて名の子どもの年齢

	人数	割合(%)
0歳	82	13.2
1歳	101	16.2
2歳	110	17.7
3歳	124	19.9
4歳	78	12.5
5歳	83	13.3
6歳	45	7.2
合計	623	100.0



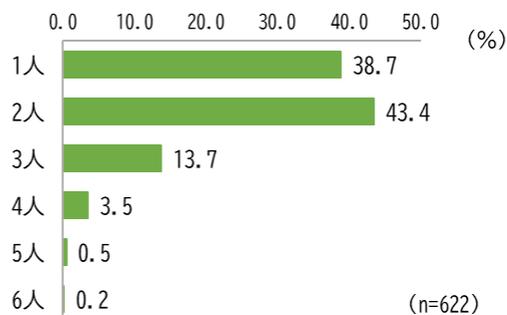
図表 8 あて名の子どもの性別

	人数	割合(%)
男児	324	52.3
女児	296	47.7
合計	620	100.0



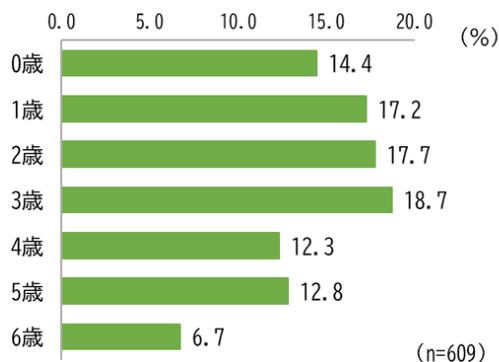
図表 9 子どもの人数

	人数	割合(%)
1人	241	38.7
2人	270	43.4
3人	85	13.7
4人	22	3.5
5人	3	0.5
6人	1	0.2
合計	622	100.0



図表 10 一番下の子どもの年齢

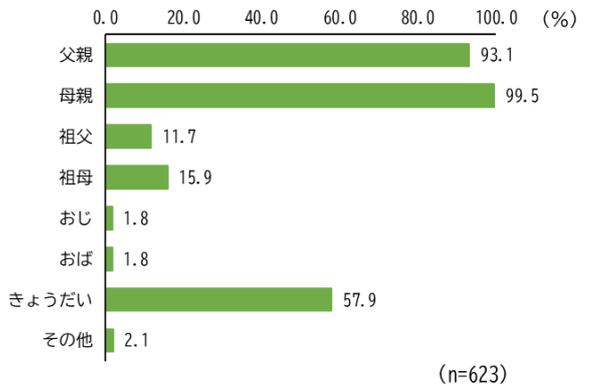
	人数	割合(%)
0歳	88	14.4
1歳	105	17.2
2歳	108	17.7
3歳	114	18.7
4歳	75	12.3
5歳	78	12.8
6歳	41	6.7
合計	609	100.0



- 同居者では母親の割合が99.5%と最も高く、次いで父親が93.1%である。きょうだい同居している割合は57.9%である。
- 同居人数は、「4人」の割合が40.9%で最も高く、次いで「3人」が31.9%、「5人」が13.8%である。

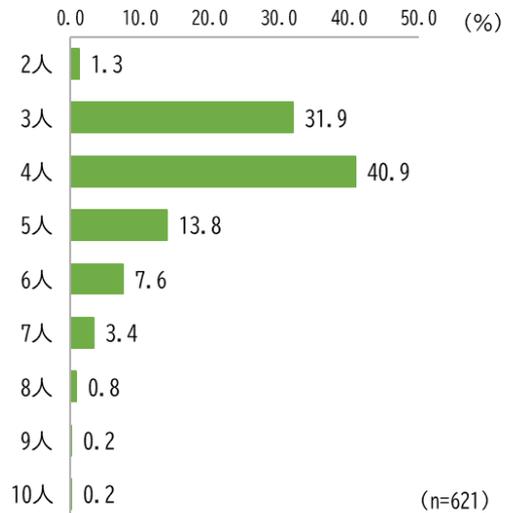
図表 11 同居者（複数回答）

	人数	割合(%)
父親	580	93.1
母親	620	99.5
祖父	73	11.7
祖母	99	15.9
おじ	11	1.8
おば	11	1.8
きょうだい	361	57.9
その他	13	2.1
回答者数	623	



図表 12 同居人数

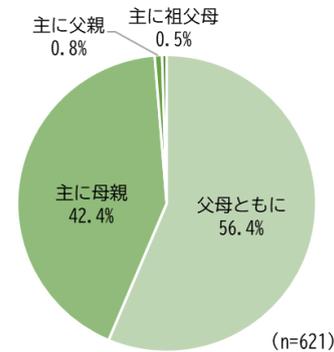
	人数	割合(%)
2人	8	1.3
3人	198	31.9
4人	254	40.9
5人	86	13.8
6人	47	7.6
7人	21	3.4
8人	5	0.8
9人	1	0.2
10人	1	0.2
合計	621	100.0



- 子育てを主に行っている人は、「父母ともに」の割合が56.4%で最も高く、次いで「主に母親」の割合が42.4%である。「主に父親」の割合は0.8%となっている。
- 父親の最終学歴は、「大学またはそれ以上」の割合が40.5%で最も高い。
- 母親の最終学歴は、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が43.2%で最も高い。

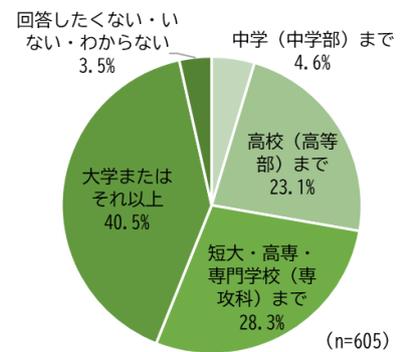
図表 13 子育てを主に行っている人

	人数	割合(%)
父母ともに	350	56.4
主に母親	263	42.4
主に父親	5	0.8
主に祖父母	3	0.5
合計	621	100.0



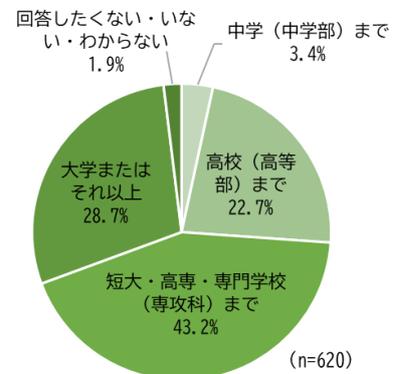
図表 14 父親の最終学歴

	人数	割合(%)
中学（中学部）まで	28	4.6
高校（高等部）まで	140	23.1
短大・高専・専門学校（専攻科）まで	171	28.3
大学またはそれ以上	245	40.5
回答したくない・いない・わからない	21	3.5
合計	605	100.0



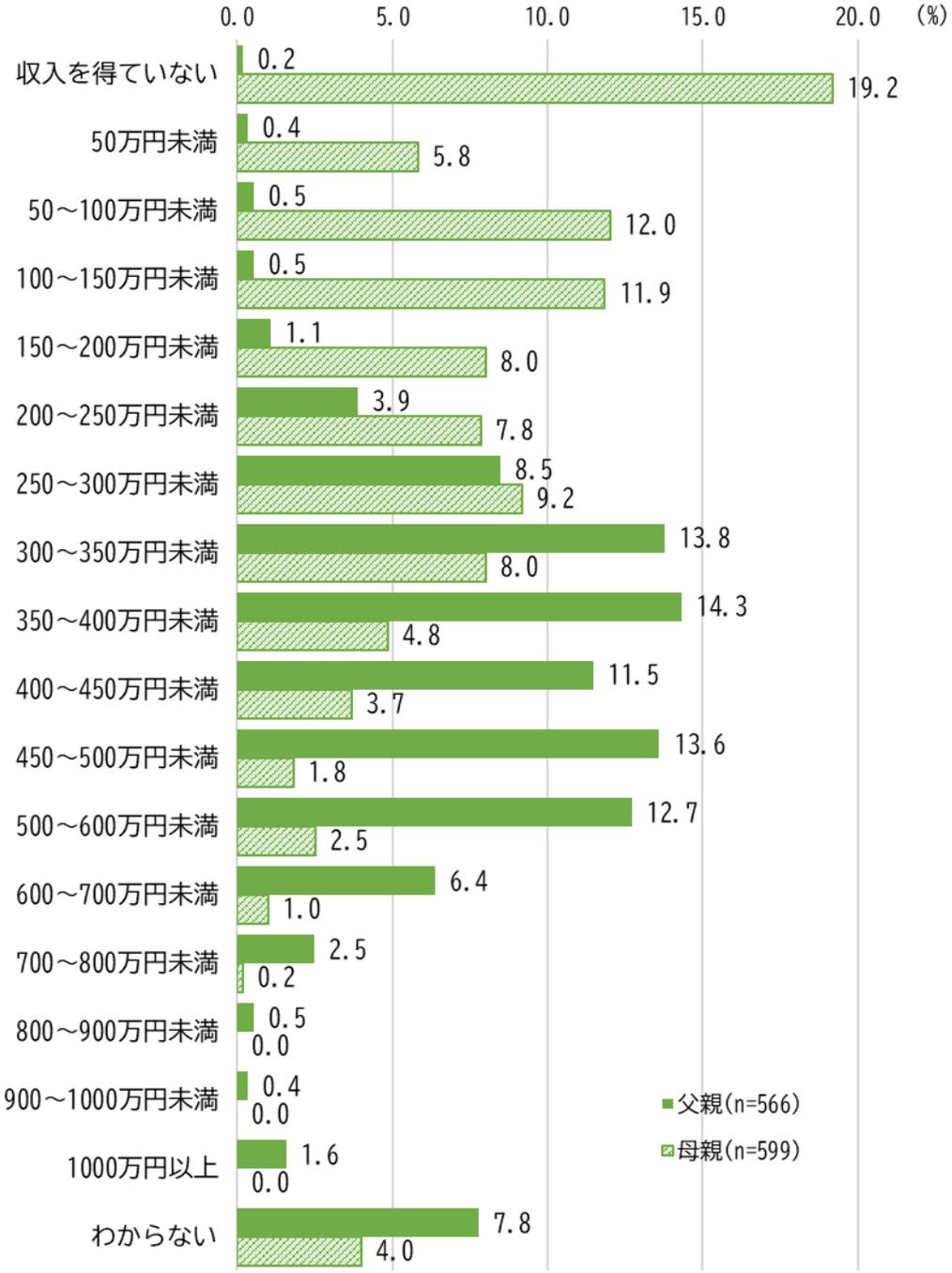
図表 15 母親の最終学歴

	人数	割合(%)
中学（中学部）まで	21	3.4
高校（高等部）まで	141	22.7
短大・高専・専門学校（専攻科）まで	268	43.2
大学またはそれ以上	178	28.7
回答したくない・いない・わからない	12	1.9
合計	620	100.0



- 父親の年収は、「350～400万円未満」の割合が14.3%で最も高く、次いで「300～350万円未満」が13.8%、「450～500万円未満」が13.6%である。
- 母親の年収は、「収入を得ていない」の割合が19.2%で最も高く、次いで「50～100万円未満」が12.0%である。

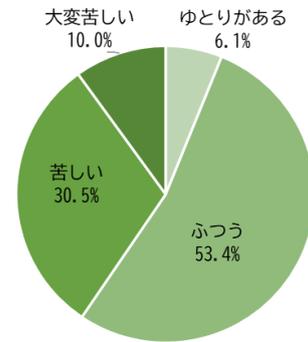
図表 16 父親・母親の年収



- 暮らしにゆとりがあるかを尋ねると、「ふつう」の割合が最も高く 53.4%である。「苦しい」は 30.5%、「大変苦しい」は 10.0%で、合わせると 40.5%となっている。
- 負担が大きい支出を尋ねると、「食費」と回答した割合は 77.0%、「光熱水費」は 64.3%、「家賃や住居にかかる費用」は 58.0%である。

図表 17 暮らしにゆとりがあるか

	人数	割合(%)
ゆとりがある	38	6.1
ふつう	332	53.4
苦しい	190	30.5
大変苦しい	62	10.0
合計	622	100.0



図表 18 負担が大きい支出（複数回答）

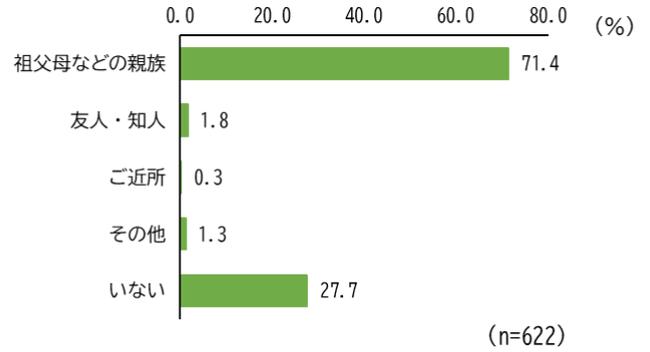
(n=622)

	人数	割合(%)
食費	470	77.0
衣類などの身の回りの物の費用	143	23.4
光熱水費	392	64.3
家賃や住居にかかる費用	354	58.0
医療費	27	4.4
保育料や教材費などの学校等にかかる費用	132	21.6
学習塾や習い事など学校以外の教育等にかかる費用	73	12.0
趣味やレジャー等の遊興費	41	6.7
その他	30	4.9
負担が大きいと感じるものはない	4	0.7
回答者数	610	

- 子どもを預けられる人としては、「祖父母などの親族」の割合が、日常では71.4%、緊急時では86.3%で、ともに最も高い。
- 「いない」と答えた人は、日常では27.7%、緊急時では12.1%となっている。

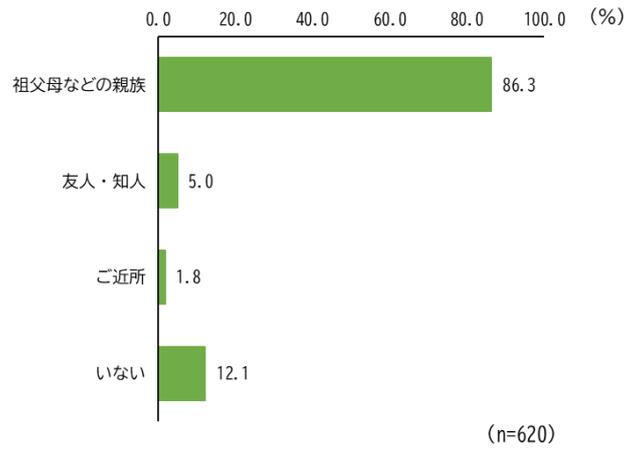
図表 19 日常で子どもを預けられる人（複数回答）

	人数	割合(%)
祖父母などの親族	444	71.4
友人・知人	11	1.8
ご近所	2	0.3
その他	8	1.3
いない	172	27.7
回答者数	622	



図表 20 緊急時に子どもを預けられる人（複数回答）

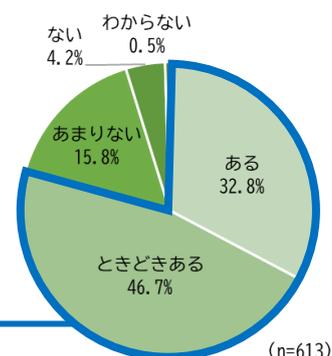
	人数	割合(%)
祖父母などの親族	535	86.3
友人・知人	31	5.0
ご近所	11	1.8
いない	75	12.1
回答者数	620	



- 子育てをするうえで悩みや不安が「ある」、「ときどきある」と答えた人は、合わせて 79.5%であった。
- 内容としては「病気や発育・発達に関すること」が 52.9%で最多であった。

図表 21 子育てをするうえで悩みや不安があるか

	人数	割合(%)
ある	201	32.8
ときどきある	286	46.7
あまりない	97	15.8
ない	26	4.2
わからない	3	0.5
合計	613	100.0



回答対象者：「ある」または「ときどきある」と回答した人

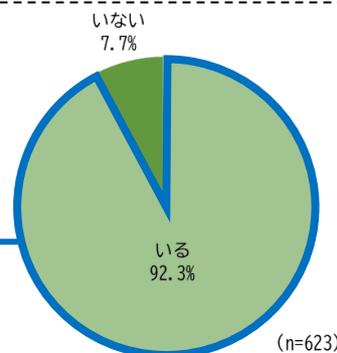
図表 22 悩みや不安の内容（複数回答）

	人数	割合(%)
病気や発育・発達に関すること	257	52.9
食事や栄養に関すること	191	39.3
育児のことがよくわからないこと	57	11.7
子どもとの接し方に自信がもてないこと	110	22.6
子どもと過ごす時間が十分とれないこと	124	25.5
子どもの教育に関すること	162	33.3
子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	94	19.3
子どもの登所・登園拒否、不登校などの課題	19	3.9
子育てに関して配偶者・パートナーの協力がいないこと	37	7.6
配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	45	9.3
自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること	25	5.1
子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	15	3.1
仕事や自分のやりたいこと、夫婦で楽しむことなど自分の時間がとれないこと	116	23.9
配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	53	10.9
子育てのストレス等から、子どもに手をあげたり、叱りすぎたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	67	13.8
子育てによる身体の疲れが大きいこと	122	25.1
子育てにかかる出費がかさむこと	169	34.8
子育てが大変なことを身近な人が理解してくれないこと	24	4.9
その他	24	4.9
回答者数	486	

- 子育てをするうえで、気軽に相談できる人が「いる」と答えた人は92.3%、「いない」は7.7%である。
- 相談相手は「配偶者」の割合が最も高く83.8%、次いで「祖父母などの親族」が78.2%、「友人や知人」が62.0%である。
- 子育てをするうえで、気軽に相談できる場所が「ある」と答えた人の割合は65.6%、「ない」は34.4%である。
- 相談場所は「保育園」の割合が最も高く79.9%、次いで「かかりつけの病院」が28.0%である。

図表 23 気軽に相談できる人がいるか

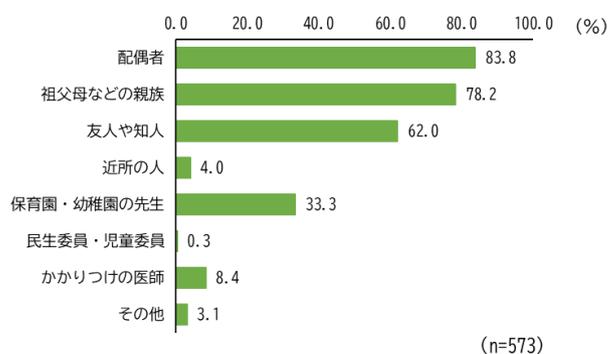
	人数	割合(%)
いる	575	92.3
いない	48	7.7
合計	623	100.0



回答対象者：「いる」と回答した人

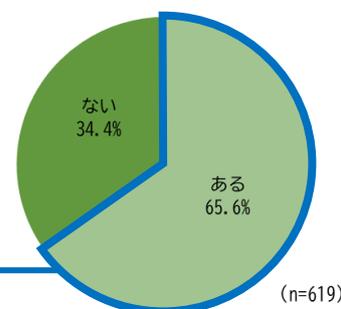
図表 24 相談相手（複数回答）

	人数	割合(%)
配偶者	480	83.8
祖父母などの親族	448	78.2
友人や知人	355	62.0
近所の人	23	4.0
保育園・幼稚園の先生	191	33.3
民生委員・児童委員	2	0.3
かかりつけの医師	48	8.4
その他	18	3.1
回答者数	573	



図表 25 気軽に相談できる場所があるか

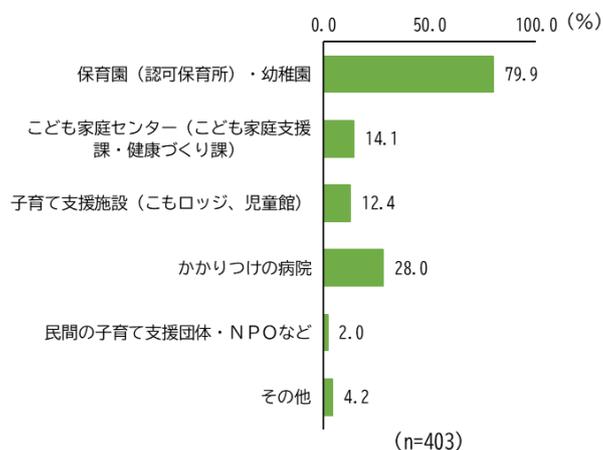
	人数	割合(%)
ある	406	65.6
ない	213	34.4
合計	619	100.0



回答対象者：「ある」と回答した人

図表 26 相談場所（複数回答）

	人数	割合(%)
保育園（認可保育所）・幼稚園	322	79.9
こども家庭センター（こども家庭支援課・健康づくり課）	57	14.1
子育て支援施設（こもロッジ、児童館）	50	12.4
かかりつけの病院	113	28.0
民間の子育て支援団体・NPOなど	8	2.0
その他	17	4.2
回答者数	403	



- 地域に期待することとしては、「通園・通学時に安全を確保してくれる」が最も高く 75.0%、次いで「子どもに気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる」が 51.5%、「子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる」が 46.3%である。

図表 27 地域に期待すること

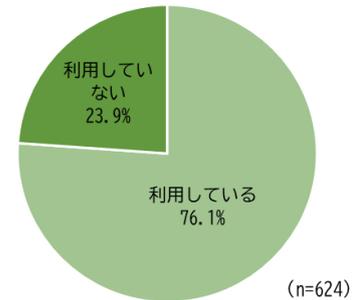
	人数	割合(%)
子どもに気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる	319	51.5
子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる	287	46.3
通園・通学時に安全を確保してくれる	465	75.0
子どもにスポーツや遊びなどの指導をしてくれる	178	28.7
緊急時に子どもを一時的に預かってくれる	185	29.8
子育てについて気軽に相談やアドバイス、情報交換をしてくれる	159	25.6
関わってほしくない	2	0.3
その他	6	1.0
特にない	33	5.3
回答者数	620	

(3) 平日の定期的な教育・保育事業の利用

- 平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」割合は76.1%、「利用していない」割合は23.9%である。

図表 28 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無

	人数	割合(%)
利用している	475	76.1
利用していない	149	23.9
合計	624	100.0



1) 現在、事業を利用していない人

- 現在利用していない人にその理由を尋ねると、「母親・父親がみている」が70.4%で最多で、次いで「子どもがまだ小さいため」が49.3%であった。
- 「子どもがまだ小さいため」と答えた人に、子どもが何歳になったら利用したいかを尋ねると、「3歳」が48.5%で最多であった。

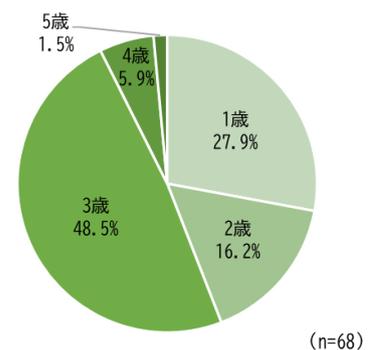
図表 29 利用していない理由（複数回答）

	人数	割合(%)
母親・父親がみている	100	70.4
祖父母や親戚の人がみている	20	14.1
近所の人や父母の友人・知人がみている	1	0.7
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	17	12.0
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	10	7.0
利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない	5	3.5
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	1	0.7
子どもがまだ小さいため（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）	70	49.3
その他	3	2.1
回答者数	142	

回答者：「子どもがまだ小さいため」と回答した人

図表 30 子どもが何歳になったら利用したいと考えているか

	人数	割合(%)
1歳	19	27.9
2歳	11	16.2
3歳	33	48.5
4歳	4	5.9
5歳	1	1.5
合計	68	100.0

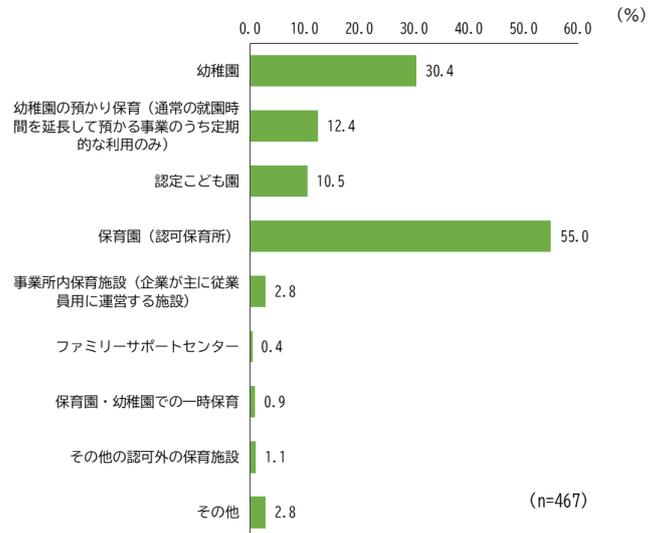


2) 現在、事業を利用している人

- 現在利用している人に、利用している事業を尋ねると、「保育園」が55.0%で最多、次いで「幼稚園」が30.4%であった。
- 利用している理由を尋ねると、「子育てをしている方が現在就労している」が86.7%で最多であった。

図表 31 利用している教育・保育事業（複数回答）

	人数	割合(%)
幼稚園	142	30.4
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	58	12.4
認定こども園	49	10.5
保育園（認可保育所）	257	55.0
事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	13	2.8
ファミリーサポートセンター	2	0.4
保育園・幼稚園での一時保育	4	0.9
その他の認可外の保育施設	5	1.1
その他	13	2.8
回答者数	467	



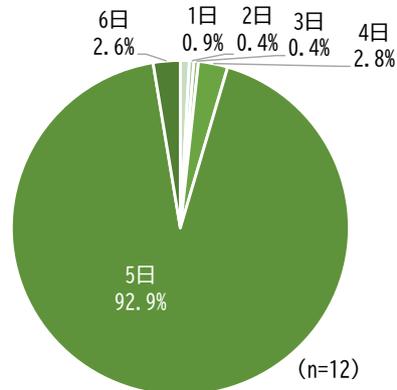
図表 32 利用している理由（複数回答）

	人数	割合(%)
子どもの教育や発達のため	254	54.5
子育てをしている方が現在就労している	404	86.7
子育てをしている方が就労の予定がある／求職中である	14	3.0
子育てをしている方に病気や障がいがある	6	1.3
子育てをしている方が学生である	1	0.2
その他	4	0.9
回答者数	466	

- 1週当たりの利用日数は、「6日」の割合が95.4%で最も高い。
- 1日当たりの利用時間は、「9時間以上10時間未満」の割合が23.0%で最も高い。
- 利用開始時刻は「8時台」の割合が59.6%で最も高い。
- 利用終了時刻は「17時台」の割合が30.4%で最も高い。

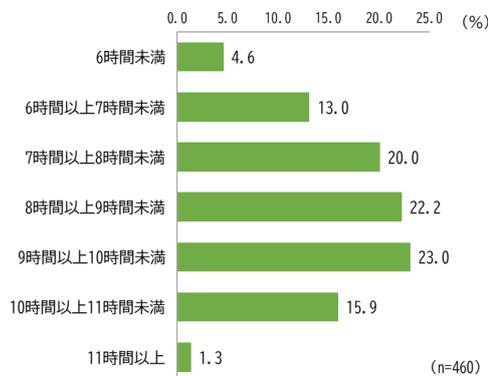
図表 33 現在の1週当たりの利用日数

	人数	割合(%)
1日	4	0.9
2日	2	0.4
3日	2	0.4
4日	13	2.8
5日	431	92.9
6日	12	2.6
合計	464	100.0



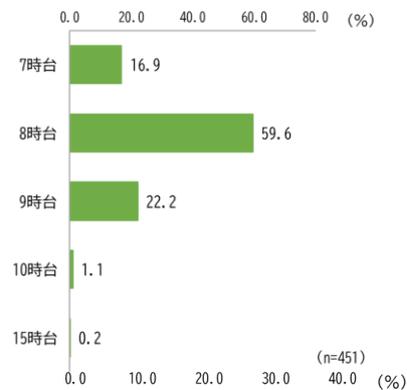
図表 34 現在の1日当たりの利用時間

	人数	割合(%)
6時間未満	21	4.6
6時間以上7時間未満	60	13.0
7時間以上8時間未満	92	20.0
8時間以上9時間未満	102	22.2
9時間以上10時間未満	106	23.0
10時間以上11時間未満	73	15.9
11時間以上	6	1.3
合計	460	100.0



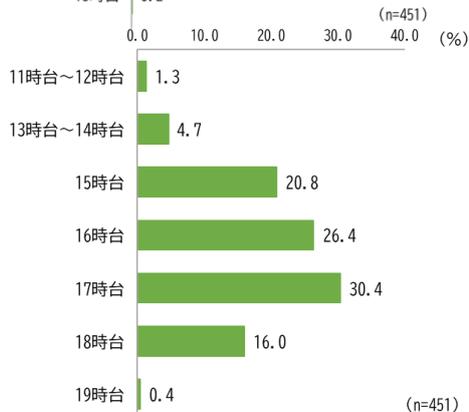
図表 35 現在の利用開始時刻

	人数	割合(%)
7時台	76	16.9
8時台	269	59.6
9時台	100	22.2
10時台	5	1.1
15時台	1	0.2
合計	451	100.0



図表 36 現在の利用終了時刻

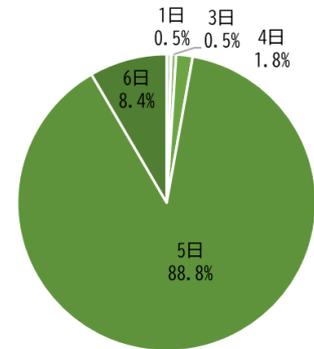
	人数	割合(%)
11時台~12時台	6	1.3
13時台~14時台	21	4.7
15時台	94	20.8
16時台	119	26.4
17時台	137	30.4
18時台	72	16.0
19時台	2	0.4
合計	451	100.0



- 現在利用している人に、希望としてはどの程度事業を利用したいかを尋ねたところ、1週当たりの利用日数は、「5日」の割合が88.8%で最も高かった。
- 1日当たりの利用時間は、「9時間以上10時間未満」の割合が27.9%で最も高い。
- 利用開始時刻は「8時台」の割合が57.0%で最も高い。
- 利用終了時刻は「17時台」の割合が38.1%で最も高い。

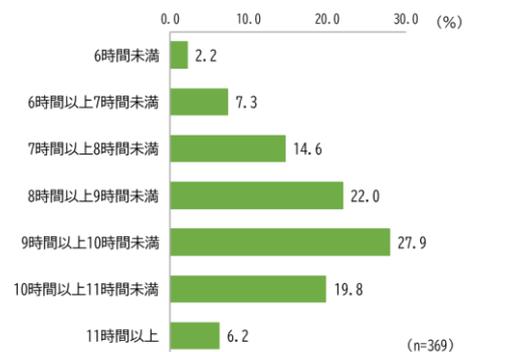
図表 37 希望する1週当たりの利用日数

	人数	割合(%)
1日	2	0.5
2日	0	0.0
3日	2	0.5
4日	7	1.8
5日	349	88.8
6日	33	8.4
合計	393	100.0



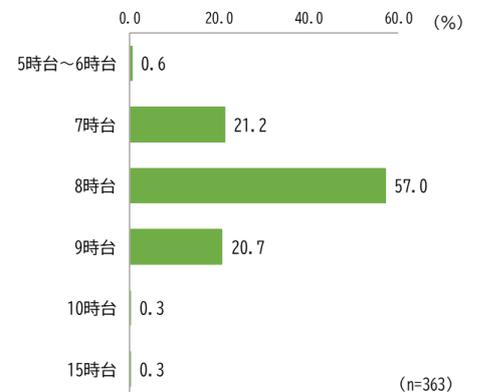
図表 38 希望する1日当たりの利用時間

	人数	割合(%)
6時間未満	8	2.2
6時間以上7時間未満	27	7.3
7時間以上8時間未満	54	14.6
8時間以上9時間未満	81	22.0
9時間以上10時間未満	103	27.9
10時間以上11時間未満	73	19.8
11時間以上	23	6.2
合計	369	100.0



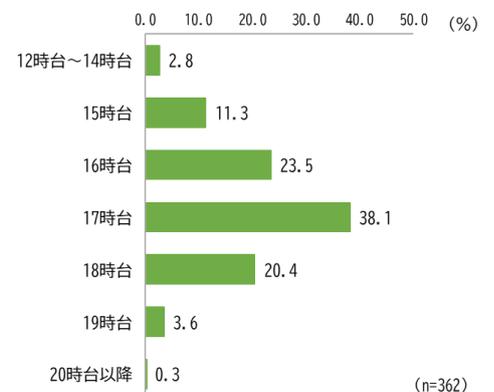
図表 39 希望する利用開始時刻

	人数	割合(%)
5時台~6時台	2	0.6
7時台	77	21.2
8時台	207	57.0
9時台	75	20.7
10時台	1	0.3
15時台	1	0.3
合計	363	100.0



図表 40 希望する利用終了時刻

	人数	割合(%)
12時台~14時台	10	2.8
15時台	41	11.3
16時台	85	23.5
17時台	138	38.1
18時台	74	20.4
19時台	13	3.6
20時台以降	1	0.3
合計	362	100.0

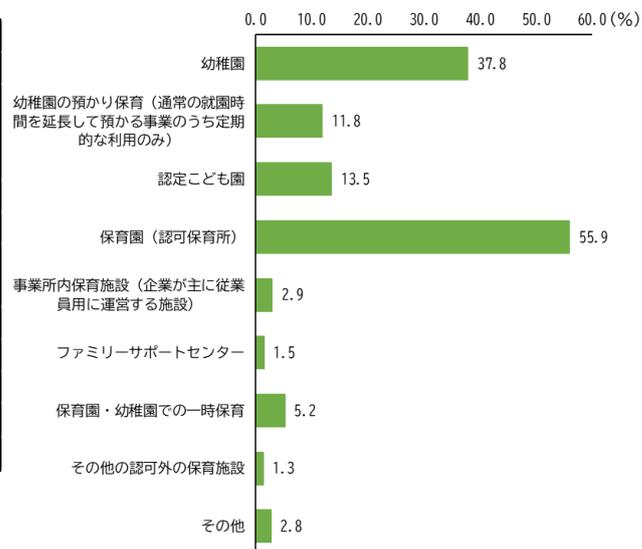


3) 今後の利用予定

- すべての人を対象に、今後の利用予定を含めて意向を尋ねたところ、「保育園」の割合が55.9%で最も高く、次いで「幼稚園」が37.8%、「認定こども園」が13.5%、「幼稚園の預かり保育」が11.8%であった。

図表 41 現在利用している、または利用を予定している教育・保育事業（複数回答）

	人数	割合(%)
幼稚園	233	37.8
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	73	11.8
認定こども園	83	13.5
保育園（認可保育所）	345	55.9
事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	18	2.9
ファミリーサポートセンター	9	1.5
保育園・幼稚園での一時保育	32	5.2
その他の認可外の保育施設	8	1.3
その他	17	2.8
回答者数	617	



(4) 子育て支援施設・事業の利用状況

- 子育て支援施設の認知度・利用状況では、「こもロッジ」の認知度が93.4%、利用状況が11.4%、「児童館」の認知度が73.9%、利用状況が6.3%である。今後の利用意向は、「こもロッジ」が17.3%、児童館が25.2%で、両施設ともに、現在の利用状況を上回っている。
- こもロッジの利用者に利用頻度を聞くと、「5日未満」が68.9%で最多であった。また利用希望者に希望日数を聞くと、「5日未満」が71.4%で最多であった。

図表 42 こもロッジ・児童館の認知度、利用状況、利用意向

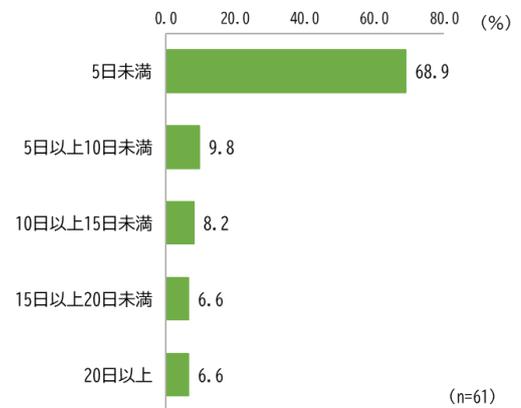
	知っている (%)	利用している (%)	今後利用したい (%)
こもロッジ	93.4	11.4	17.3
児童館	73.9	6.3	25.2

(n=624)

回答対象者：こもロッジを利用していると回答した人

図表 43 こもロッジの現在の1ヶ月あたりの利用頻度

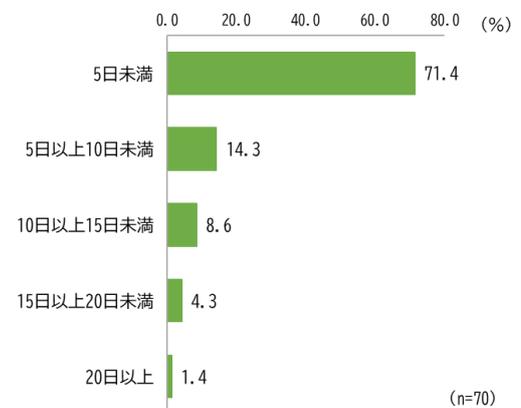
	人数	割合(%)
5日未満	42	68.9
5日以上10日未満	6	9.8
10日以上15日未満	5	8.2
15日以上20日未満	4	6.6
20日以上	4	6.6
合計	61	100.0



回答対象者：こもロッジを今後利用したいと回答した人

図表 44 こもロッジの今後の1ヶ月あたりの利用希望

	人数	割合(%)
5日未満	50	71.4
5日以上10日未満	10	14.3
10日以上15日未満	6	8.6
15日以上20日未満	3	4.3
20日以上	1	1.4
合計	70	100.0

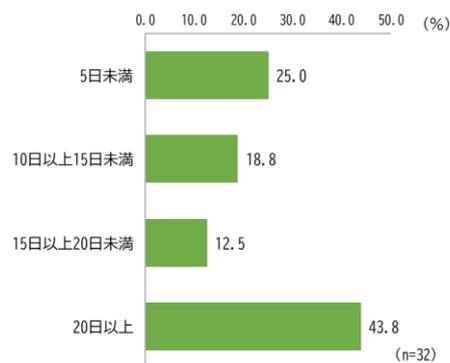


- 児童館の利用者に利用頻度を聞くと、「20日以上」が43.8%で最多であった。また、利用希望者に希望日数を聞くと、「20日以上」が43.8%で最多であった。

回答対象者：児童館を利用していると回答した人

図表 45 児童館の現在の1ヶ月あたりの利用頻度

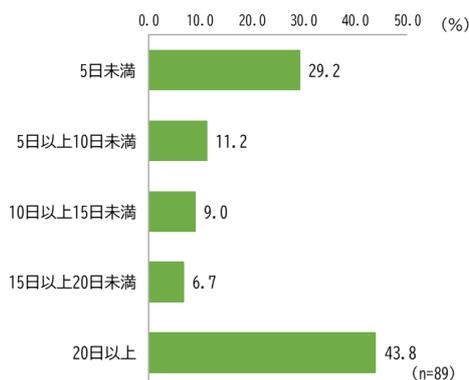
	人数	割合(%)
5日未満	8	25.0
5日以上10日未満	0	0.0
10日以上15日未満	6	18.8
15日以上20日未満	4	12.5
20日以上	14	43.8
合計	32	100.0



回答対象者：児童館を今後利用したいと回答した人

図表 46 児童館の今後の1ヶ月あたりの利用希望

	人数	割合(%)
5日未満	26	29.2
5日以上10日未満	10	11.2
10日以上15日未満	8	9.0
15日以上20日未満	6	6.7
20日以上	39	43.8
合計	89	100.0



- 子育て支援事業の認知度・利用状況では「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」の認知度が66.7%、利用状況が32.9%であり、「保健センターの情報・相談事業」の認知度が74.2%、利用状況が31.1%である。これらの事業では、今後の利用意向が現在の利用状況を下回っている。
- 一方、上記以外の選択肢では、今後の利用意向が現在の利用状況を上回っている。

図表 47 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用意向

	知っている (%)	利用した (%)	今後利用したい (%)
母親(父親)学級、両親学級、育児学級	66.7	32.9	12.5
保健センター(健康づくり課)の情報・相談事業	74.2	31.1	14.7
家庭教育に関する学級・講座	25.3	0.5	14.3
教育支援センター・教育相談	31.6	3.0	13.8
保育所や幼稚園の園庭等の開放	52.9	16.3	18.6
こども家庭センター(こども家庭支援課こども相談係)の相談事業	35.7	4.2	12.8

(n=624)

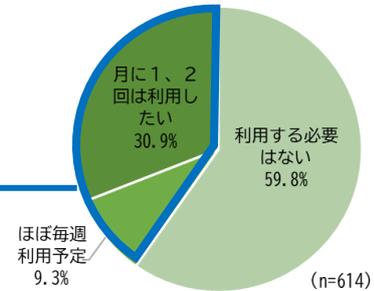
(5) 土日祝日の定期的な教育・保育事業の利用

1) 土曜日

- 土曜日に定期的な教育・保育事業の利用を希望する人は、40.2%である。
- その理由としては、「仕事のため」の割合が75.0%と最も高い。
- 利用開始の希望時刻は「8時台」が58.0%で最多である。
- 利用終了の希望時刻は「17時台」が39.0%で最多である。

図表 48 利用意向

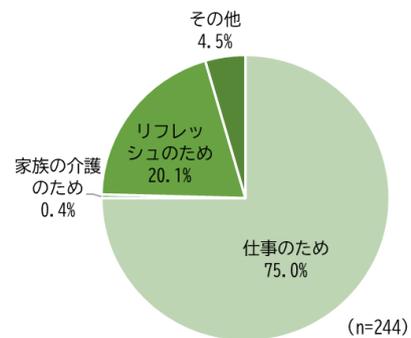
	人数	割合(%)
利用する必要はない	367	59.8
ほぼ毎週利用予定	57	9.3
月に1、2回は利用したい	190	30.9
合計	614	100.0



回答者：利用を希望する人

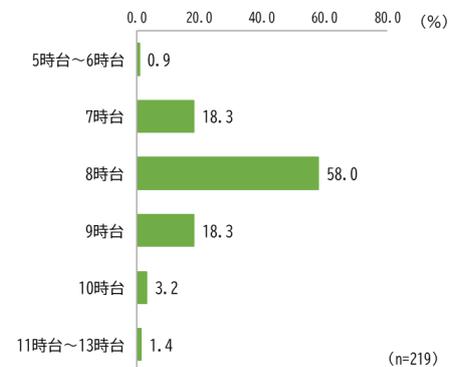
図表 49 利用する理由

	人数	割合(%)
仕事のため	183	75.0
家族の介護のため	1	0.4
リフレッシュのため	49	20.1
その他	11	4.5
合計	244	100.0



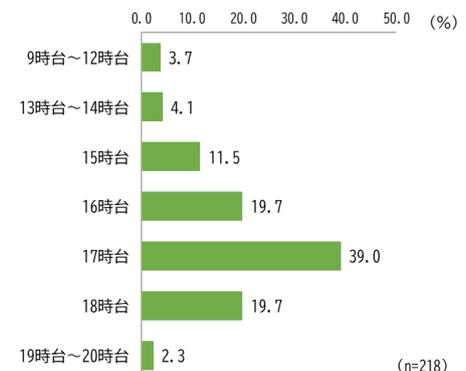
図表 50 利用開始希望時刻

	人数	割合(%)
5時台～6時台	2	0.9
7時台	40	18.3
8時台	127	58.0
9時台	40	18.3
10時台	7	3.2
11時台～13時台	3	1.4
合計	219	100.0



図表 51 利用終了希望時刻

	人数	割合(%)
9時台～12時台	8	3.7
13時台～14時台	9	4.1
15時台	25	11.5
16時台	43	19.7
17時台	85	39.0
18時台	43	19.7
19時台～20時台	5	2.3
合計	218	100.0

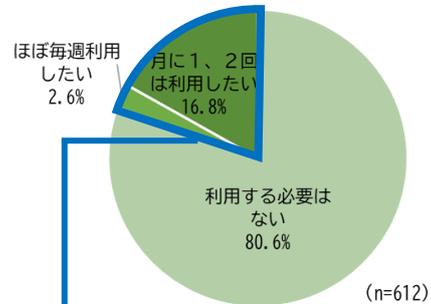


2) 日曜日・祝日

- 日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業の利用を希望する人は、19.4%である。
- その理由としては「仕事のため」の割合が66.4%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」が28.4%である。
- 利用開始の希望時刻は「8時台」が53.3%で最多である。
- 利用終了の希望時刻は「17時台」が44.8%で最多である。

図表 52 日曜日の利用意向

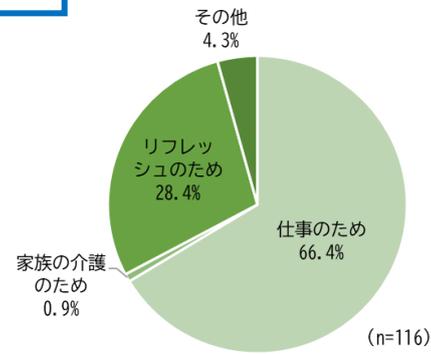
	人数	割合(%)
利用する必要はない	493	80.6
ほぼ毎週利用したい	16	2.6
月に1、2回は利用したい	103	16.8
合計	612	100.0



回答者：利用を希望する人

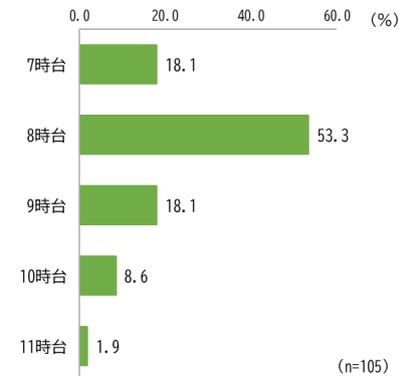
図表 53 利用する理由

	人数	割合(%)
仕事のため	77	66.4
家族の介護のため	1	0.9
リフレッシュのため	33	28.4
その他	5	4.3
合計	116	100.0



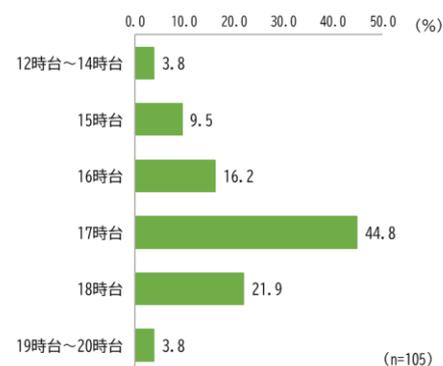
図表 54 利用開始の希望時刻

	人数	割合(%)
7時台	19	18.1
8時台	56	53.3
9時台	19	18.1
10時台	9	8.6
11時台	2	1.9
合計	105	100.0



図表 55 利用終了の希望時刻

	人数	割合(%)
12時台～14時台	4	3.8
15時台	10	9.5
16時台	17	16.2
17時台	47	44.8
18時台	23	21.9
19時台～20時台	4	3.8
合計	105	100.0



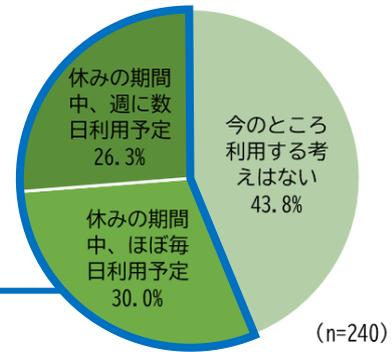
3) 長期休暇（夏休み・冬休み）

回答対象者：幼稚園・認定こども園を利用している人

- 幼稚園・認定こども園を利用している人に、長期休暇期間中に預かり保育などの利用を予定しているか尋ねたところ、利用を予定している人は、56.3%であった。
- 利用開始の希望時刻は「8時台」が66.4%で最多である。
- 利用終了の希望時刻は「17時台」が30.6%で最多である。

図表 56 幼稚園・認定こども園の預かり保育の利用意向

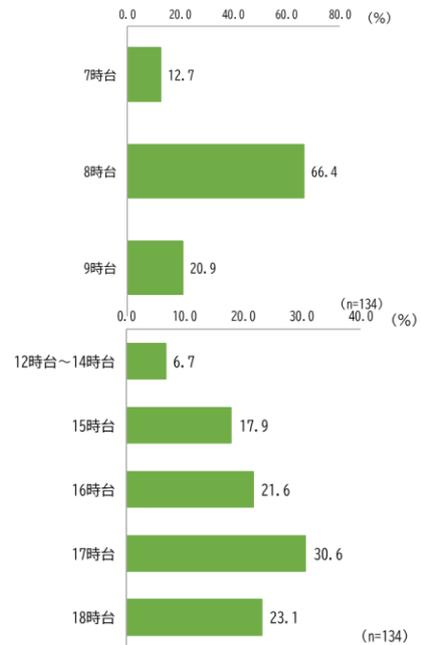
	人数	割合(%)
今のところ利用する考えはない	105	43.8
休みの期間中、ほぼ毎日利用予定	72	30.0
休みの期間中、週に数日利用予定	63	26.3
合計	240	100.0



回答対象者：利用を希望する人

図表 57 利用開始の希望時刻

	人数	割合(%)
7時台	17	12.7
8時台	89	66.4
9時台	28	20.9
合計	134	100.0



図表 58 利用終了の希望時刻

	人数	割合(%)
12時台~14時台	9	6.7
15時台	24	17.9
16時台	29	21.6
17時台	41	30.6
18時台	31	23.1
合計	134	100.0

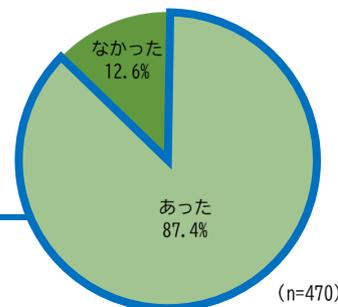
(6) 子どもが病気などになった時

回答対象者：平日に定期的な教育・保育事業を利用している人

- 子どもが病気等で保育園・幼稚園等に通えなかった経験が「あった」と答えた人は87.4%である。
- その際の対処方法としては、「母親が休んだ」と答えた人が89.6%と最多で、その日数は「10日以上20日未満」が35.3%で最多である。
- 「父親が休んだ」と答えた人は49.1%で、その日数は「5日未満」が47.3%で最多である。

図表 59 病気等で学校等に通えなかった経験の有無

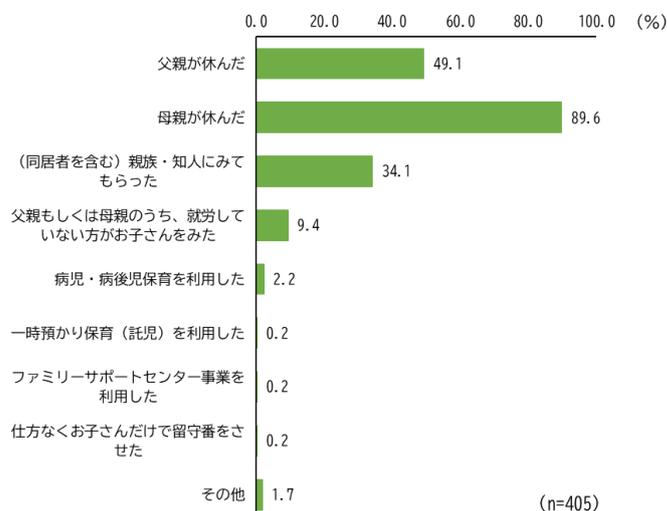
	人数	割合(%)
あった	411	87.4
なかった	59	12.6
合計	470	100.0



回答対象者：「あった」と回答した人

図表 60 この1年間に行った対処方法（複数回答）

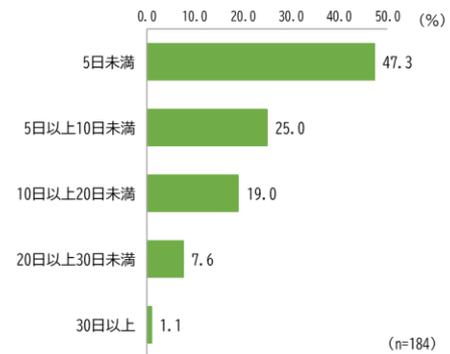
	人数	割合(%)
父親が休んだ	199	49.1
母親が休んだ	363	89.6
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	138	34.1
父親もしくは母親のうち、就労していない方がお子さんをみた	38	9.4
病児・病後児保育を利用した	9	2.2
一時預かり保育(託児)を利用した	1	0.2
ファミリーサポートセンター事業を利用した	1	0.2
仕方なくお子さんだけで留守番をさせた	1	0.2
その他	7	1.7
回答者数	405	



回答対象者：「父親が休んだ」と回答した人

図表 61 父親が休んだ日数

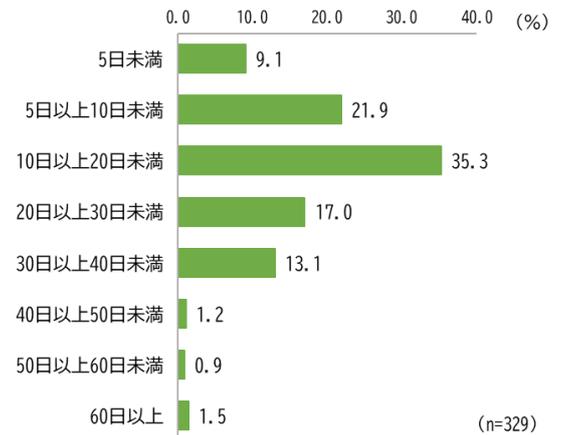
	人数	割合(%)
5日未満	87	47.3
5日以上10日未満	46	25.0
10日以上20日未満	35	19.0
20日以上30日未満	14	7.6
30日以上	2	1.1
合計	184	100.0



回答対象者：「母親が休んだ」と回答した人

図表 62 母親が休んだ日数

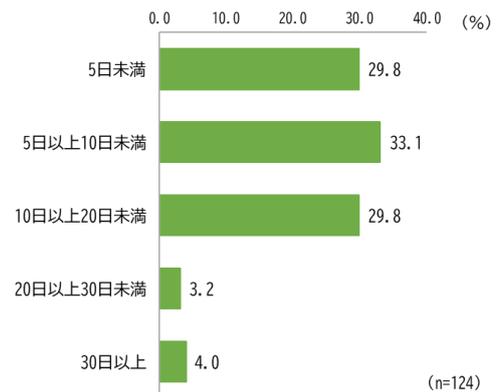
	人数	割合(%)
5日未満	30	9.1
5日以上10日未満	72	21.9
10日以上20日未満	116	35.3
20日以上30日未満	56	17.0
30日以上40日未満	43	13.1
40日以上50日未満	4	1.2
50日以上60日未満	3	0.9
60日以上	5	1.5
合計	329	100.0



回答対象者：「親族・知人にみてもらった」と回答した人

図表 63 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった日数

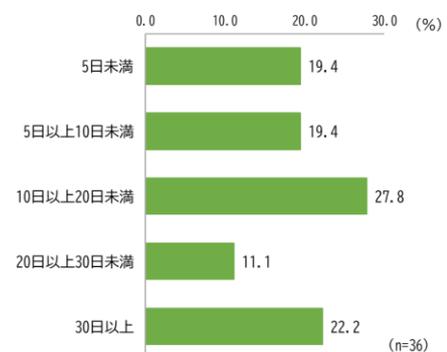
	人数	割合(%)
5日未満	37	29.8
5日以上10日未満	41	33.1
10日以上20日未満	37	29.8
20日以上30日未満	4	3.2
30日以上	5	4.0
合計	124	100.0



回答対象者：「父親もしくは母親のうち、就労していない方がお子さんをみた」と回答した人

図表 64 父親もしくは母親のうち、就労していない方がお子さんをみた日数

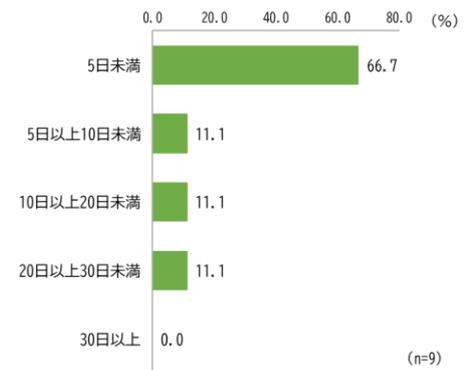
	人数	割合(%)
5日未満	7	19.4
5日以上10日未満	7	19.4
10日以上20日未満	10	27.8
20日以上30日未満	4	11.1
30日以上	8	22.2
合計	36	100.0



回答対象者：「病児・病後児保育を利用した」と回答した人

図表 65 病児・病後児保育を利用した日数

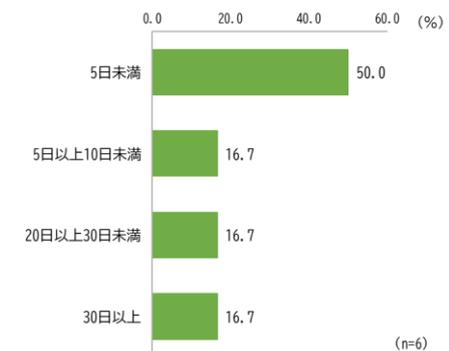
	人数	割合(%)
5日未満	6	66.7
5日以上10日未満	1	11.1
10日以上20日未満	1	11.1
20日以上30日未満	1	11.1
30日以上	0	0.0
合計	9	100.0



回答対象者：「その他」と回答した人

図表 66 その他の日数

	人数	割合(%)
5日未満	3	50.0
5日以上10日未満	1	16.7
10日以上20日未満	0	0.0
20日以上30日未満	1	16.7
30日以上	1	16.7
合計	6	100.0

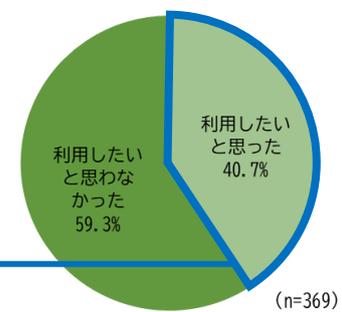


- ・ 父親または母親が休んだ人に、病児・病後児のための保育施設等の利用意向を聞くと、「利用したいと思った」と答えた人は40.7%であった。
- ・ 利用を希望する人に、利用希望日数を尋ねると、「10日以上20日未満」が39.7%で最多であった。

回答対象者：父親または母親が休んだ人

図表 67 病児保育のための保護施設等の利用意向

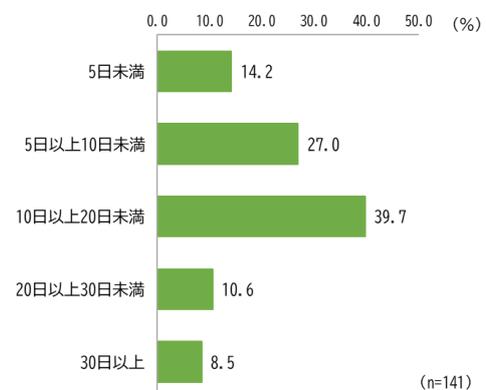
	人数	割合(%)
利用したいと思った	150	40.7
利用したいと思わなかった	219	59.3
合計	369	100.0



回答対象者：利用を希望する人

図表 68 病児保育のための保護施設等の利用希望日数

	人数	割合(%)
5日未満	20	14.2
5日以上10日未満	38	27.0
10日以上20日未満	56	39.7
20日以上30日未満	15	10.6
30日以上	12	8.5
合計	141	100.0

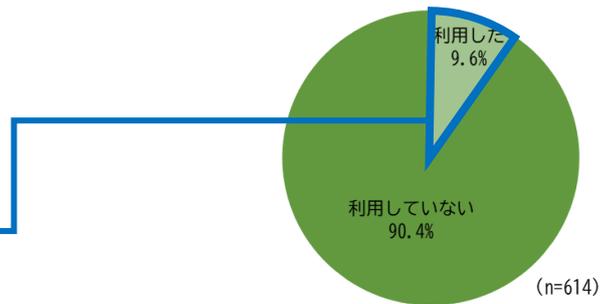


(7) 一時預かりや幼稚園の預かり保育などの不定期な利用

- 過去1年間に、一時預かりや幼稚園の預かりを利用した人は9.6%である。
- 利用した人に内容を尋ねると、「幼稚園の預かり保育」が61.0%で最多であり、次いで「一時預かり」が37.3%であった。
- 各事業を利用した人に利用日数を尋ねたところ、「一時預かり」では「5日未満」が47.6%、「幼稚園の預かり保育」では「5日以上10日未満」が35.3%であった。

図表 69 過去1年間ににおける一時預かりや幼稚園の預かり保育などの不定期な利用の有無

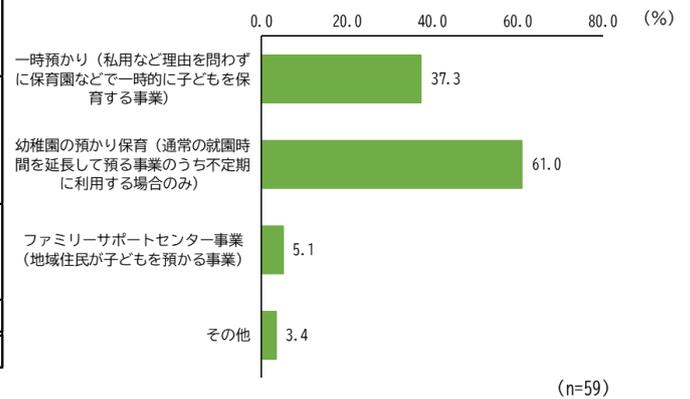
	人数	割合(%)
利用した	59	9.6
利用していない	555	90.4
合計	614	100.0



回答対象者：利用した人

図表 70 利用した事業（複数選択）

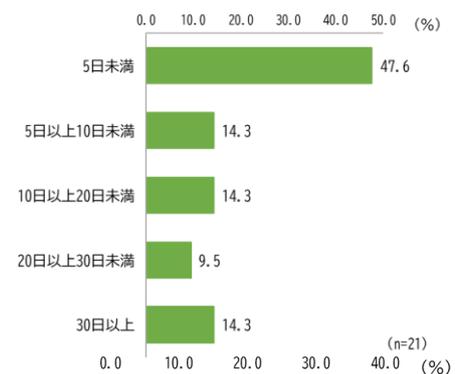
	人数	割合(%)
一時預かり（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	22	37.3
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預る事業のうち不定期に利用する場合のみ）	36	61.0
ファミリーサポートセンター事業（地域住民が子どもを預かる事業）	3	5.1
その他	2	3.4
回答者数	59	



回答対象者：一時預かりを利用した人

図表 71 一時預かりの利用日数

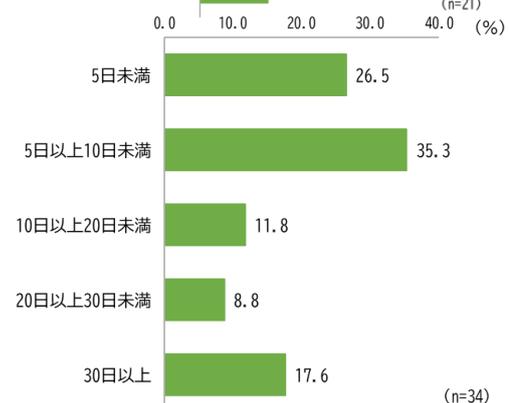
	人数	割合(%)
5日未満	10	47.6
5日以上10日未満	3	14.3
10日以上20日未満	3	14.3
20日以上30日未満	2	9.5
30日以上	3	14.3
合計	21	100.0



回答対象者：幼稚園の預かり保育を利用した人

図表 72 幼稚園の預かり保育の利用日数

	人数	割合(%)
5日未満	9	26.5
5日以上10日未満	12	35.3
10日以上20日未満	4	11.8
20日以上30日未満	3	8.8
30日以上	6	17.6
合計	34	100.0



回答対象者：ファミリーサポートセンター事業を利用した人

図表 73 ファミリーサポートセンター事業の利用日数

	人数	割合(%)
1日	1	33.3
2日	1	33.3
5日	1	33.3
合計	3	100.0

回答対象者：「その他」と回答した人

図表 74 その他の事業の利用日数

	人数	割合(%)
1日	1	50.0
20日	1	50.0
合計	2	100.0

- ・ 一時預かりや幼稚園の預かりを利用していない人にその理由を尋ねると、「特に利用する必要がない」が71.2%で最多であった。
- ・ そのほか、「事業の利用方法(手続き)がわからない」(17.0%)、「手続きや手配が面倒」(16.7%)、「利用料がかかる・高い」(14.5%)、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」(11.0%)、「利用料がわからない」(10.1%)なども挙げられた。

回答対象者：利用していない人

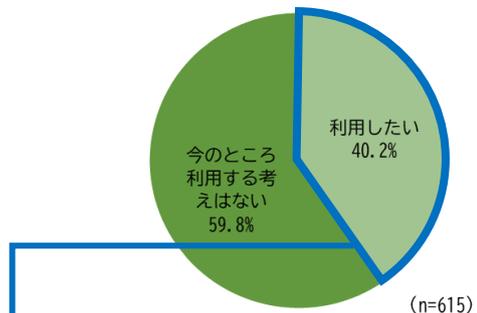
図表 75 利用していない理由(複数選択)

	人数	割合(%)
特に利用する必要がない	389	71.2
利用したい事業がない	18	3.3
事業の質に不安がある	23	4.2
事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	32	5.9
利用料がかかる・高い	79	14.5
利用料がわからない	55	10.1
自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない	60	11.0
事業の利用方法(手続き)がわからない	93	17.0
手続きや手配が面倒	91	16.7
その他	30	5.5
回答者数	546	

- 今後の利用意向では、40.2%が「利用したい」と回答した。
- 目的別で見ると、「私用や親のリフレッシュ」では「10日以上20日未満」が39.5%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」では「5日未満」が35.7%、「5日以上10日未満」が34.1%、「不特定の就労」では「10日以上20日未満」が30.2%であった。

図表 76 今後の利用意向

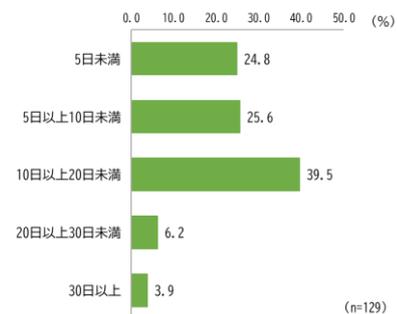
	人数	割合(%)
利用したい	247	40.2
今のところ利用する考えはない	368	59.8
合計	615	100.0



回答対象者：利用を希望する人 ←

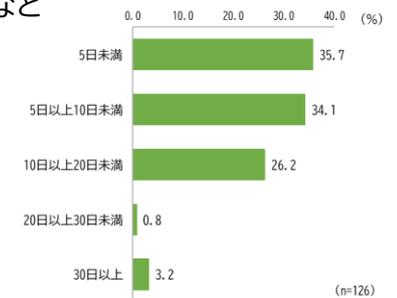
図表 77 利用目的：私用や親のリフレッシュ

	人数	割合(%)
5日未満	32	24.8
5日以上10日未満	33	25.6
10日以上20日未満	51	39.5
20日以上30日未満	8	6.2
30日以上	5	3.9
合計	129	100.0



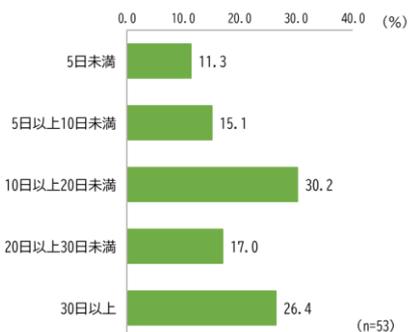
図表 78 利用目的：冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など

	人数	割合(%)
5日未満	45	35.7
5日以上10日未満	43	34.1
10日以上20日未満	33	26.2
20日以上30日未満	1	0.8
30日以上	4	3.2
合計	126	100.0



図表 79 利用目的：不特定の就労

	人数	割合(%)
5日未満	6	11.3
5日以上10日未満	8	15.1
10日以上20日未満	16	30.2
20日以上30日未満	9	17.0
30日以上	14	26.4
合計	53	100.0



図表 80 利用目的：その他

	人数	割合(%)
5日未満	2	25.0
5日以上10日未満	2	25.0
10日以上20日未満	2	25.0
20日以上30日未満	1	12.5
30日以上	1	12.5
合計	8	100.0

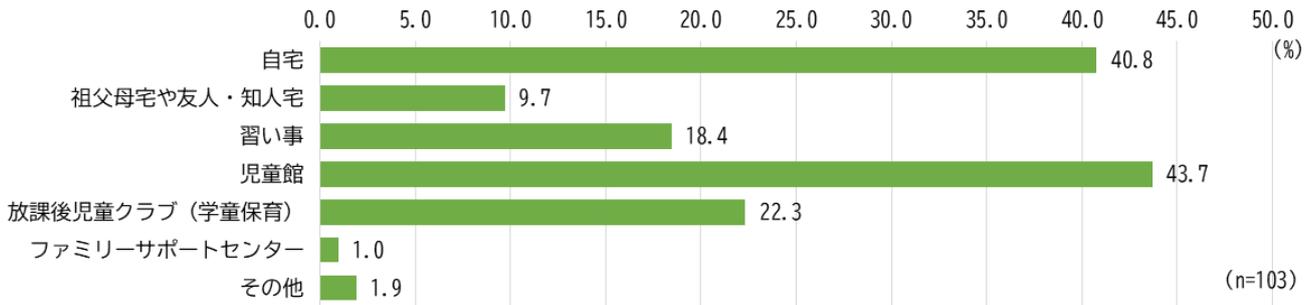


(8) 小学校入学後の放課後や自由時間の過ごし方

回答対象者：あて名の子どもが5歳以上の人

- 平日の放課後の過ごし方について、「低学年の間」と「高学年になったら」の利用意向を比較すると、「児童館」と答えた人の割合は低学年の方が高く、「自宅」や「習い事」は高学年の方が高い。「放課後児童クラブ」では大きな差は見られなかった。
- 放課後児童クラブの利用終了時刻の希望を尋ねると、低学年では「17時台」と「18時台」まで希望する人の割合がそれぞれ40.9%で最も高い。高学年では「17時台」が42.9%で最も高い。

図表 81 平日の放課後の場所・事業の利用意向（低学年の間）



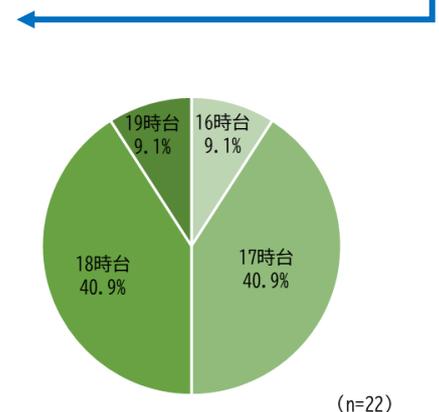
図表 82 平日の放課後の場所・事業の利用希望日数（低学年の間）

	1日 (人)	2日 (人)	3日 (人)	4日 (人)	5日 (人)	平均 (日)
自宅	7	13	13	3	11	1.7
祖父母宅や友人・知人宅	5	1	4	2	3	0.5
習い事	22	9	6	0	0	0.7
児童館	3	13	4	6	12	1.5
放課後児童クラブ (学童保育)	1	2	2	5	3	0.6
ファミリーサポートセンター	0	0	0	0	0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0.0

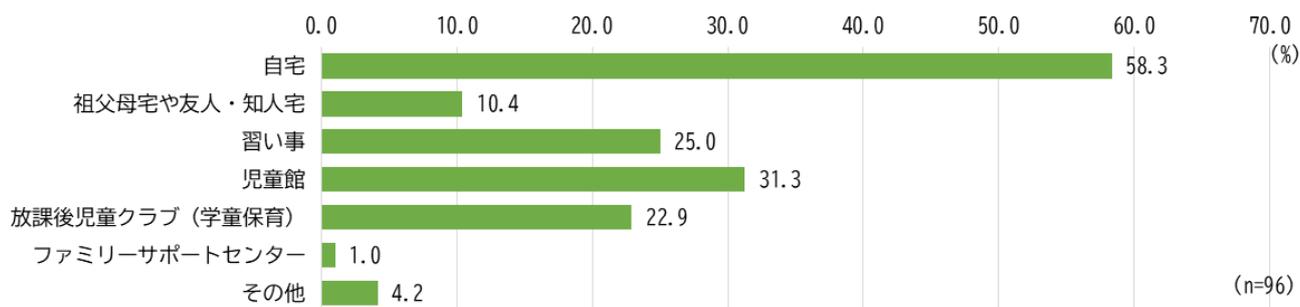
回答対象者：放課後児童クラブ（学童保育）の利用を希望する人

図表 83 放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了希望時刻

	人数	割合 (%)
16時台	2	9.1
17時台	9	40.9
18時台	9	40.9
19時台	2	9.1
合計	22	100.0



図表 84 平日の放課後の場所・事業の利用意向（高学年になったら）



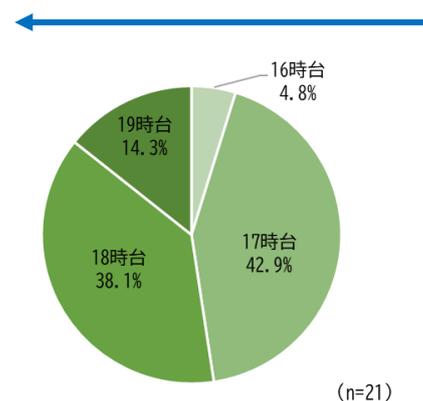
図表 85 平日の放課後の場所・事業の利用希望日数（高学年になったら）

	1日 (人)	2日 (人)	3日 (人)	4日 (人)	5日 (人)	平均 (日)
自宅	4	7	3	5	9	2.3
祖父母宅や友人・知人宅	5	1	3	0	1	0.5
習い事	12	10	3	0	0	1.0
児童館	2	4	1	0	2	0.6
放課後児童クラブ (学童保育)	0	2	3	0	1	0.5
ファミリーサポートセンター	0	0	0	0	0	0.0
その他	2	0	1	0	0	0.1

回答対象者：放課後児童クラブ（学童保育）の利用を希望する人

図表 86 放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了希望時刻

	人数	割合 (%)
16時台	1	4.8
17時台	9	42.9
18時台	8	38.1
19時台	3	14.3
合計	21	100.0



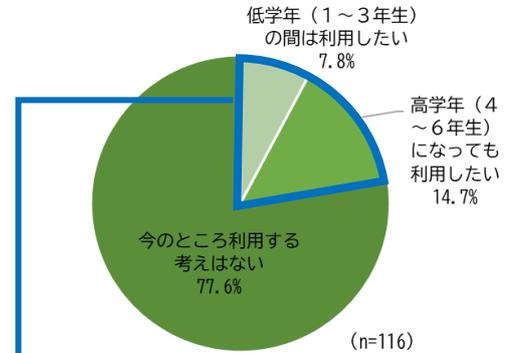
■平日以外の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

1) 土曜日

- 土曜日に放課後児童クラブの利用を希望する人は22.5%である。
- 利用開始希望時刻は、「8時台」と答えた人の割合が、60.0%で最も高い。
- 利用終了希望時刻は、「18時台」が28.6%と最も高い。

図表 87 利用希望

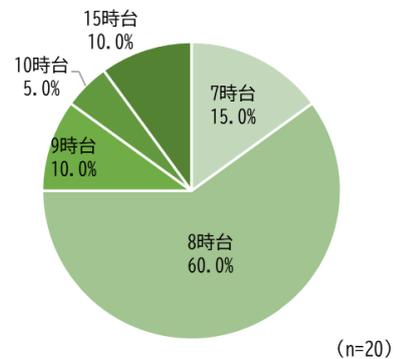
	人数	割合(%)
低学年（1～3年生）の間は利用したい	9	7.8
高学年（4～6年生）になっても利用したい	17	14.7
今のところ利用する考えはない	90	77.6
合計	116	100.0



回答対象者：利用を希望する人

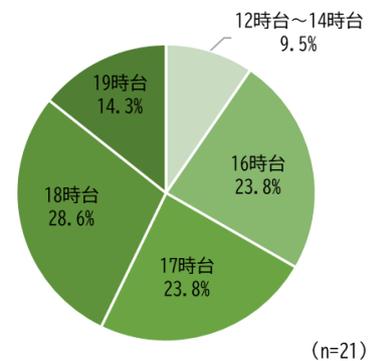
図表 88 利用開始希望時刻

	人数	割合(%)
7時台	3	15.0
8時台	12	60.0
9時台	2	10.0
10時台	1	5.0
15時台	2	10.0
合計	20	100.0



図表 89 利用終了希望時刻

	人数	割合(%)
12時台～14時台	2	9.5
15時台	0	0.0
16時台	5	23.8
17時台	5	23.8
18時台	6	28.6
19時台	3	14.3
合計	21	100.0

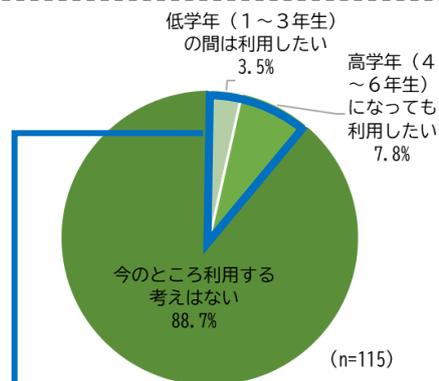


2) 日曜日・祝日

- 日曜日・祝日に放課後児童クラブの利用を希望する人は11.3%である。
- 利用開始希望時刻は、「8時台」と答えた人の割合が、75.0%で最も高い。
- 利用終了希望時刻は、「18時台」と答えた人の割合が、37.5%で最も高い。

図表 90 利用希望

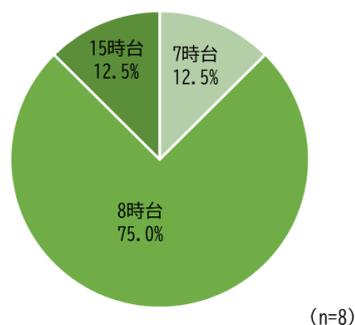
	人数	割合(%)
低学年(1～3年生)の間は利用したい	4	3.5
高学年(4～6年生)になっても利用したい	9	7.8
今のところ利用する考えはない	102	88.7
合計	115	100.0



回答対象者：利用を希望する人

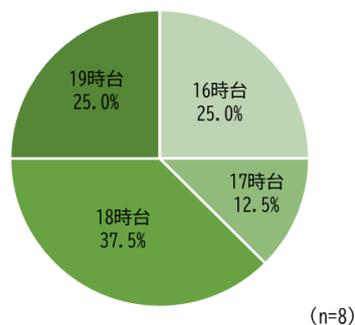
図表 91 利用開始希望時刻

	人数	割合(%)
7時台	1	12.5
8時台	6	75.0
15時台	1	12.5
合計	8	100.0



図表 92 利用終了希望時刻

	人数	割合(%)
16時台	2	25.0
17時台	1	12.5
18時台	3	37.5
19時台	2	25.0
合計	8	100.0

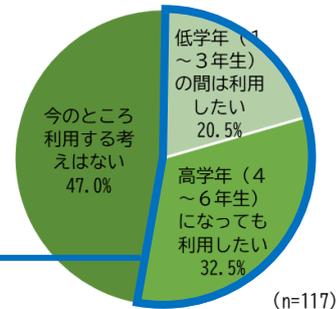


3) 長期休暇期間中（夏休み・冬休み）

- 長期休暇期間中に放課後児童クラブの利用を希望する人は53.0%である。
- 利用開始希望時刻は、「8時台」と答えた人の割合が、51.7%で最も高い。
- 利用終了希望時刻は、「18時台」と答えた人の割合が、37.3%で最も高い。

図表 93 利用希望

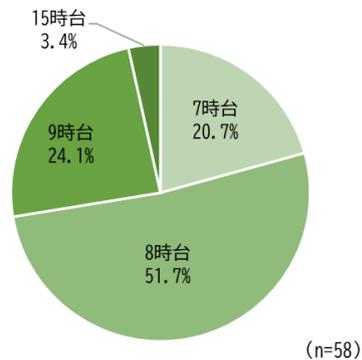
	人数	割合(%)
低学年（1～3年生）の間は利用したい	24	20.5
高学年（4～6年生）になっても利用したい	38	32.5
今のところ利用する考えはない	55	47.0
合計	117	100.0



回答対象者：利用を希望する人

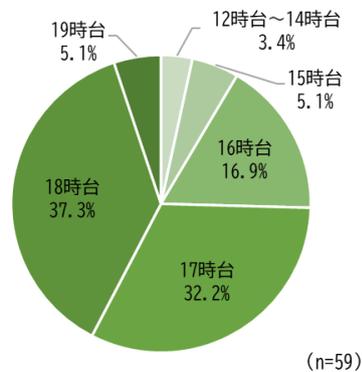
図表 94 利用開始希望時刻

	人数	割合(%)
7時台	12	20.7
8時台	30	51.7
9時台	14	24.1
15時台	2	3.4
合計	58	100.0



図表 95 利用終了希望時刻

	人数	割合(%)
12時台～14時台	2	3.4
15時台	3	5.1
16時台	10	16.9
17時台	19	32.2
18時台	22	37.3
19時台	3	5.1
合計	59	100.0

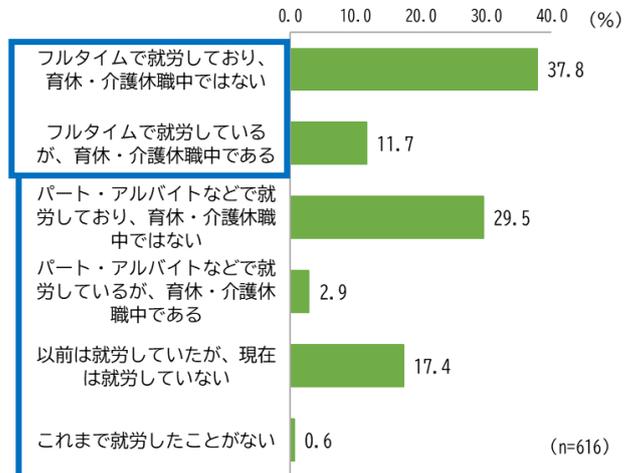


(9) 母親の就労の状況

- 母親がフルタイムで就労している割合は49.5%、パート・アルバイトなどで就労している割合は32.4%である（それぞれ休職中を含む）。
- フルタイムで就労している人の内訳を見ると、「正社員・正規職員」が79.0%で最多である。

図表 96 就労状況

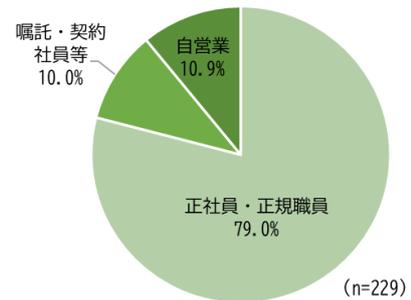
	人数	割合(%)
フルタイムで就労しており、育休・介護休職中ではない	233	37.8
フルタイムで就労しているが、育休・介護休職中である	72	11.7
パート・アルバイトなどで就労しており、育休・介護休職中ではない	182	29.5
パート・アルバイトなどで就労しているが、育休・介護休職中である	18	2.9
以前は就労していたが、現在は就労していない	107	17.4
これまで就労したことがない	4	0.6
合計	616	100.0



回答対象者：フルタイムで就労している人（休職中含む）

図表 97 就労形態

	人数	割合(%)
正社員・正規職員	181	79.0
嘱託・契約社員等	23	10.0
自営業	25	10.9
合計	229	100.0

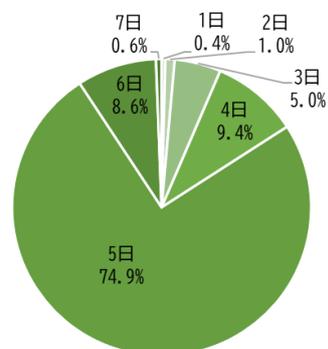


- 就労中の人の1週あたりの就労日数は、「5日」の割合が74.9%で最も高く、次いで「4日」が9.4%、「6日」が8.6%である。
- 1日あたりの就労時間は、「5時間以上8時間未満」の割合が50.9%で最も高く、次いで「8時間以上10時間未満」が39.8%である。

回答対象者：就労中の人（休職中含む）

図表 98 1週あたりの就労日数

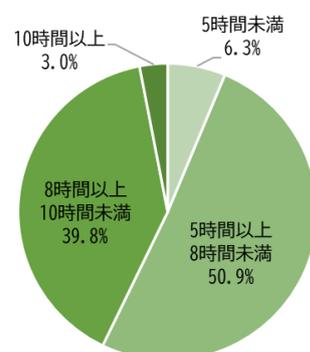
	人数	割合(%)
1日	2	0.4
2日	5	1.0
3日	25	5.0
4日	47	9.4
5日	373	74.9
6日	43	8.6
7日	3	0.6
合計	498	100.0



(n=498)

図表 99 1日あたりの就労時間

	人数	割合(%)
5時間未満	31	6.3
5時間以上8時間未満	252	50.9
8時間以上10時間未満	197	39.8
10時間以上	15	3.0
合計	495	100.0



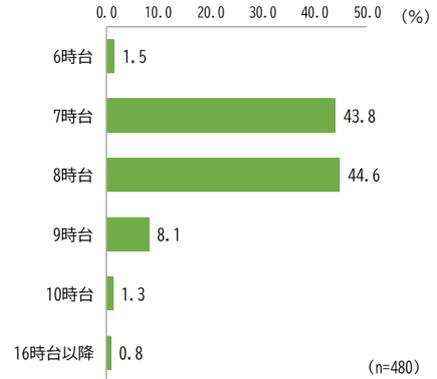
(n=495)

- 家を出る時間は、「8時台」の割合が最も高く44.6%で、次いで「7時台」が43.8%である。
- 帰宅時間は、「18時台」の割合が最も高く34.7%で、次いで「17時台」が27.2%である。
- 土曜日に就労している人は47.4%、日曜日に就労している人は22.5%である。

回答対象者：就労中の人（休職中含む）

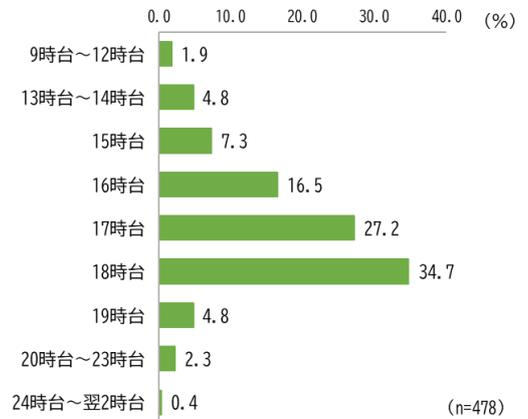
図表 100 家を出る時間

	人数	割合(%)
6時台	7	1.5
7時台	210	43.8
8時台	214	44.6
9時台	39	8.1
10時台	6	1.3
16時台以降	4	0.8
合計	480	100.0



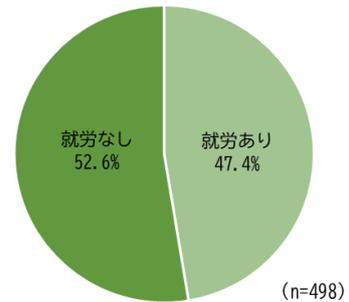
図表 101 帰宅時間

	人数	割合(%)
9時台～12時台	9	1.9
13時台～14時台	23	4.8
15時台	35	7.3
16時台	79	16.5
17時台	130	27.2
18時台	166	34.7
19時台	23	4.8
20時台～23時台	11	2.3
24時台～翌2時台	2	0.4
合計	478	100.0



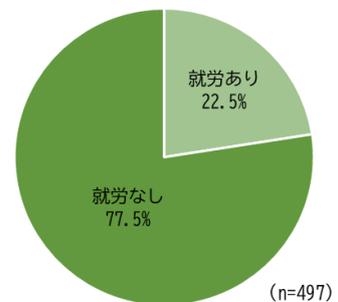
図表 102 土曜日の就労の有無

	人数	割合(%)
就労あり	236	47.4
就労なし	262	52.6
合計	498	100.0



図表 103 日曜日の就労の有無

	人数	割合(%)
就労あり	112	22.5
就労なし	385	77.5
合計	497	100.0

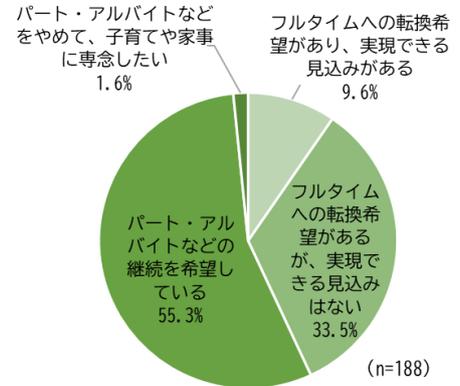


- パート・アルバイト等で就労している人のうち、そのままの就労形態を希望している人は 55.3%である。
- 一方、フルタイムへの転換希望がある人は 43.1%で、そのうち希望を叶えられる見込みがあるのは 9.6%である。

回答対象者：パート・アルバイト等で就労している人

図表 104 フルタイムへの転換希望

	人数	割合(%)
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	18	9.6
フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない	63	33.5
パート・アルバイトなどの継続を希望している	104	55.3
パート・アルバイトなどをやめて、子育てや家事に専念したい	3	1.6
合計	188	100.0

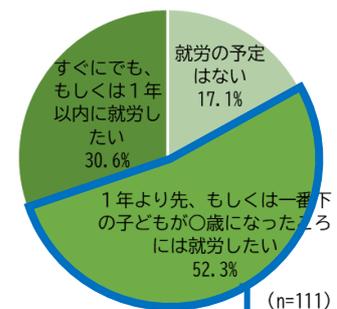


- 現在就労していない人のうち、就労の予定がない人は 17.1%である。
- 一方、1年より先、もしくは一番下の子どもが一定年齢以上になってから就労したい人は 52.3%、すぐにでも、または1年以内に就労したい人は 30.6%である。
- 就労時の末子の年齢の希望は、「3歳」の割合が 39.3%で最も高く、次いで「4歳」が 19.6%である。

回答対象者：現在就労していない人

図表 105 就労への希望

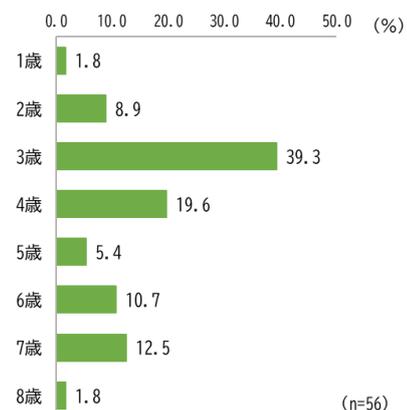
	人数	割合(%)
就労の予定はない	19	17.1
1年より先、もしくは一番下の子どもが〇歳になったころには就労したい	58	52.3
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	34	30.6
合計	111	100.0



回答対象者：「一番下の子どもが〇歳になったころには就労したい」と回答した人

図表 106 就労時の末子の年齢の希望

	人数	割合(%)
1歳	1	1.8
2歳	5	8.9
3歳	22	39.3
4歳	11	19.6
5歳	3	5.4
6歳	6	10.7
7歳	7	12.5
8歳	1	1.8
合計	56	100.0

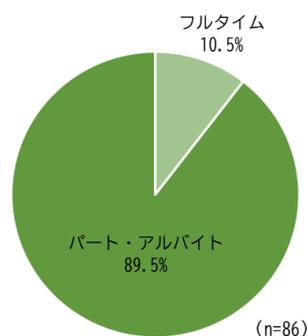


- 現在就労していない人のうち、就労の希望がある人に働き方の意向を尋ねたところ、就労形態では「パート・アルバイト」の割合が89.5%で最も高かった。
- 1週あたりの希望就労日数では「5日」が43.0%、1日当たりの希望就労時間では「5時間以上6時間未満」が30.6%で最も高い。

回答対象者：現在就労していない人のうち、就労希望がある人

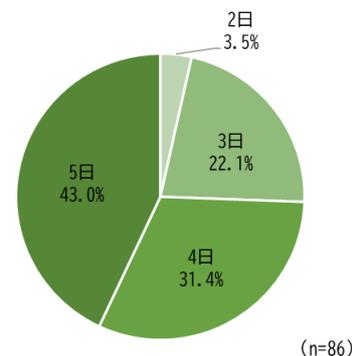
図表 107 希望する就労形態

	人数	割合(%)
フルタイム	9	10.5
パート・アルバイト	77	89.5
合計	86	100.0



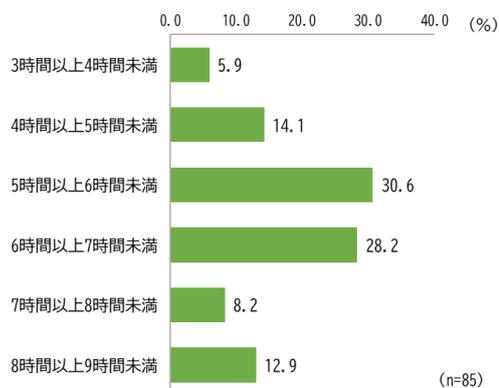
図表 108 1週あたりの希望就労日数

	人数	割合(%)
2日	3	3.5
3日	19	22.1
4日	27	31.4
5日	37	43.0
合計	86	100.0



図表 109 1日あたりの希望就労時間

	人数	割合(%)
3時間以上4時間未満	5	5.9
4時間以上5時間未満	12	14.1
5時間以上6時間未満	26	30.6
6時間以上7時間未満	24	28.2
7時間以上8時間未満	7	8.2
8時間以上9時間未満	11	12.9
合計	85	100.0

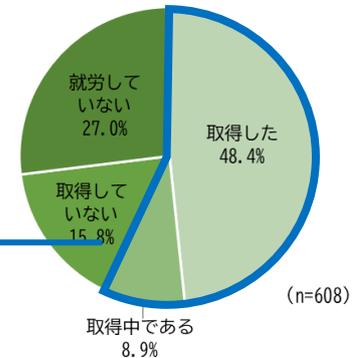


(10) 母親の育児休業

- 育児休業を取得した、または取得中であると答えた人は57.3%である。
- 取得期間は「1年以上2年未満」の割合が45.5%で最も高く、職場へ復帰する時点の子どもの年齢は「1歳以上1歳6ヶ月未満」の割合が59.0%で最も高い。

図表 110 育児休業の取得状況

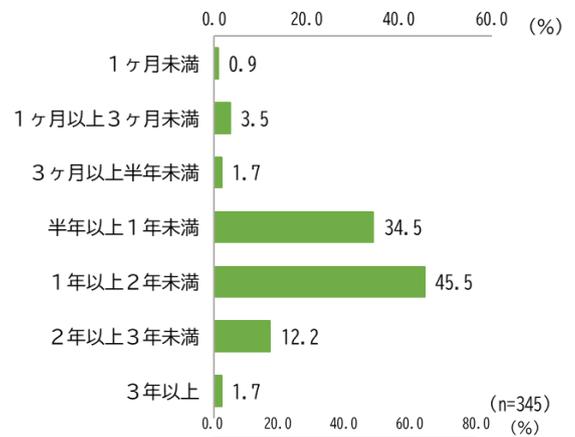
	人数	割合(%)
取得した	294	48.4
取得中である	54	8.9
取得していない	96	15.8
就労していない	164	27.0
合計	608	100.0



回答対象者：取得した、または取得中の人

図表 111 育児休業の取得期間

	人数	割合(%)
1ヶ月未満	3	0.9
1ヶ月以上3ヶ月未満	12	3.5
3ヶ月以上半年未満	6	1.7
半年以上1年未満	119	34.5
1年以上2年未満	157	45.5
2年以上3年未満	42	12.2
3年以上	6	1.7
合計	345	100.0



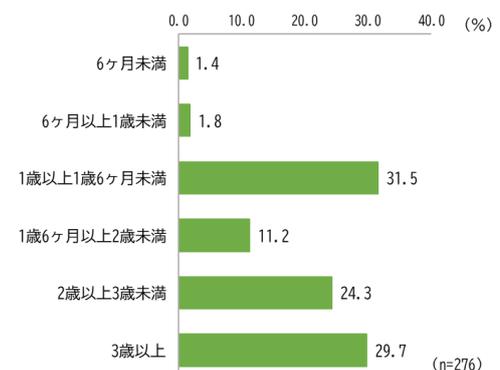
図表 112 職場への復帰時期

	人数	割合(%)
6ヶ月未満	13	4.0
6ヶ月以上1歳未満	27	8.4
1歳以上1歳6ヶ月未満	190	59.0
1歳6ヶ月以上2歳未満	37	11.5
2歳以上3歳未満	39	12.1
3歳以上	16	5.0
合計	322	100.0



図表 113 希望の復帰時期

	人数	割合(%)
6ヶ月未満	4	1.4
6ヶ月以上1歳未満	5	1.8
1歳以上1歳6ヶ月未満	87	31.5
1歳6ヶ月以上2歳未満	31	11.2
2歳以上3歳未満	67	24.3
3歳以上	82	29.7
合計	276	100.0

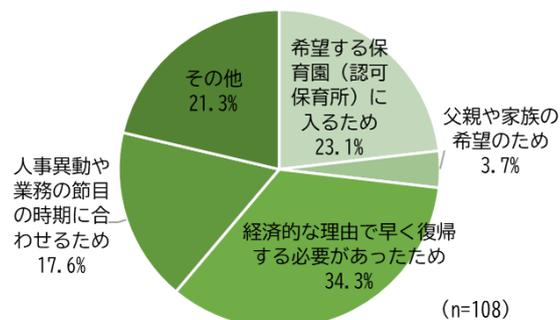


- ・ 復帰した人で、復帰時期が希望よりも早かった人にその理由を尋ねると、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」と答えた人の割合が 34.3%で最も高く、次いで「希望する保育園に入るため」が 23.1%であった。
- ・ 逆に、復帰した人で、復帰時期が希望よりも遅かった人にその理由を尋ねると、「希望する保育園に入れないため」と答えた人の割合が 80.0%で最も高かった。

回答対象者：復帰した人で、復帰時期が希望よりも早かった人

図表 114 復帰時期が希望よりも早かった理由

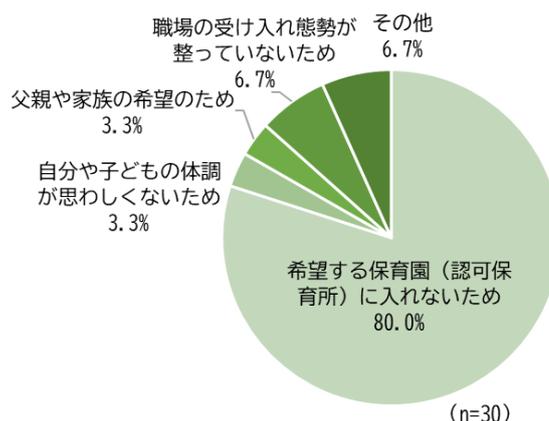
	人数	割合(%)
希望する保育園（認可保育所）に入るため	25	23.1
父親や家族の希望のため	4	3.7
経済的な理由で早く復帰する必要があったため	37	34.3
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	19	17.6
その他	23	21.3
合計	108	100.0



回答対象者：復帰した人で、復帰時期が希望よりも遅かった人

図表 115 復帰時期が希望よりも遅かった理由

	人数	割合(%)
希望する保育園（認可保育所）に入れないため	24	80.0
自分や子どもの体調が思わしくないため	1	3.3
父親や家族の希望のため	1	3.3
職場の受け入れ態勢が整っていないため	2	6.7
その他	2	6.7
合計	30	100.0

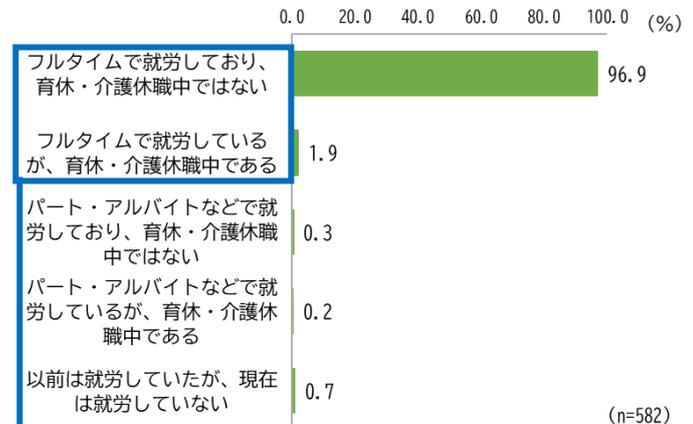


(11) 父親の就労状況

- 父親がフルタイムで就労している割合は98.8%である。
- フルタイムで就労している人の内訳を見ると、「正社員・正規職員」が87.5%で最多である。

図表 116 就労状況

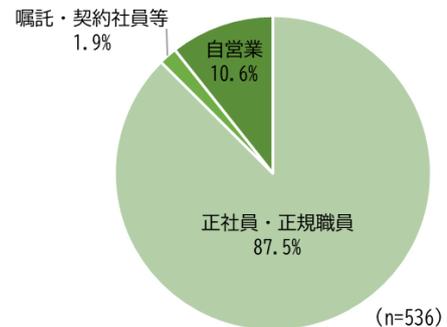
	人数	割合(%)
フルタイムで就労しており、育休・介護休職中ではない	564	96.9
フルタイムで就労しているが、育休・介護休職中である	11	1.9
パート・アルバイトなどで就労しており、育休・介護休職中ではない	2	0.3
パート・アルバイトなどで就労しているが、育休・介護休職中である	1	0.2
以前は就労していたが、現在は就労していない	4	0.7
合計	582	100.0



回答対象者：フルタイムで就労している人（休職中含む）

図表 117 就労形態

	人数	割合(%)
正社員・正規職員	469	87.5
嘱託・契約社員等	10	1.9
自営業	57	10.6
合計	536	100.0

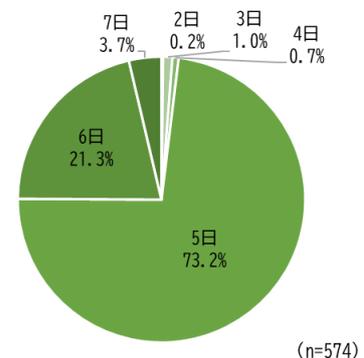


- 就労中の人の1週あたりの就労日数は、「5日」の割合が最も高く73.2%、次いで「6日」が21.3%である。
- 1日あたりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が59.3%、「10時間以上」が29.8%である。

回答対象者：就労中の人（休職中含む）

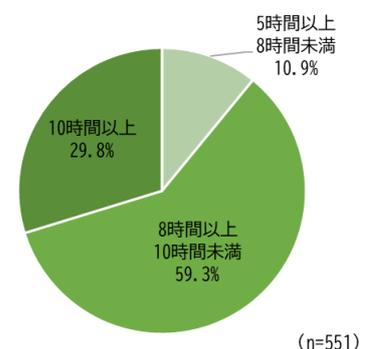
図表 118 1週あたりの就労日数

	人数	割合(%)
2日	1	0.2
3日	6	1.0
4日	4	0.7
5日	420	73.2
6日	122	21.3
7日	21	3.7
合計	574	100.0



図表 119 1日あたりの就労時間

	人数	割合(%)
5時間以上8時間未満	60	10.9
8時間以上10時間未満	327	59.3
10時間以上	164	29.8
合計	551	100.0

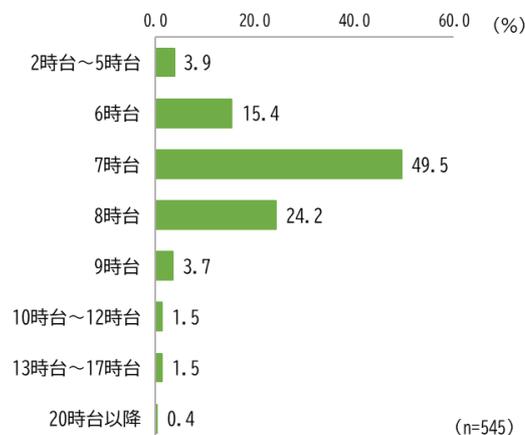


- 家を出る時間は、「7時台」が49.5%で最も高く、次いで「8時台」が24.2%である。
- 帰宅時間は、「18時台」が33.4%で最も高く、次いで「20～23時台」が24.7%、「19時台」が20.7%である。
- 土曜日に就労している人は62.3%、日曜日に就労している人は35.8%である。

回答対象者：就労中の人（休職中含む）

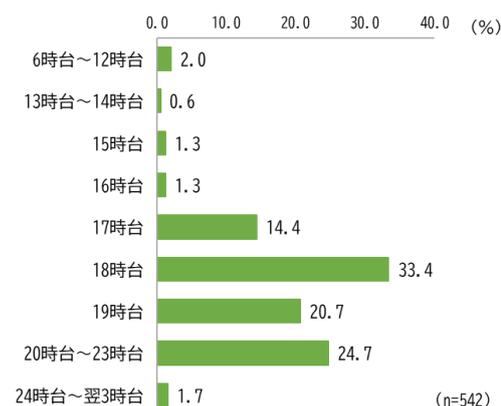
図表 120 家を出る時間

	人数	割合(%)
2時台～5時台	21	3.9
6時台	84	15.4
7時台	270	49.5
8時台	132	24.2
9時台	20	3.7
10時台～12時台	8	1.5
13時台～17時台	8	1.5
20時台以降	2	0.4
合計	545	100.0



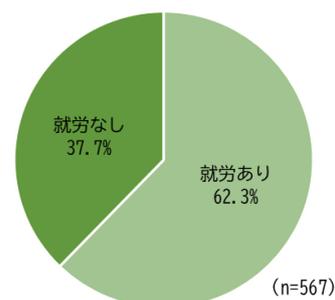
図表 121 帰宅時間

	人数	割合(%)
6時台～12時台	11	2.0
13時台～14時台	3	0.6
15時台	7	1.3
16時台	7	1.3
17時台	78	14.4
18時台	181	33.4
19時台	112	20.7
20時台～23時台	134	24.7
24時台～翌3時台	9	1.7
合計	542	100.0



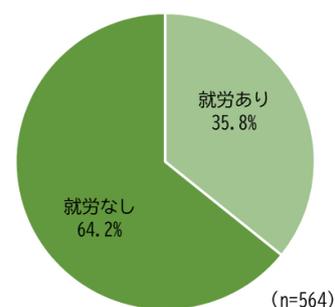
図表 122 土曜日の就労の有無

	人数	割合(%)
就労あり	353	62.3
就労なし	214	37.7
合計	567	100.0



図表 123 日曜日の就労の有無

	人数	割合(%)
就労あり	202	35.8
就労なし	362	64.2
合計	564	100.0

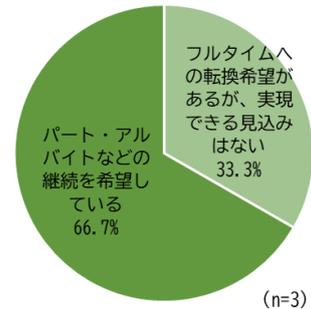


- パート・アルバイト等で就労している人のうち、そのままの就労形態を希望している人は 66.7%である。一方、フルタイムへの転換希望がある人は 33.3%である。
- 現在就労していない人のうち、すぐにも、または1年以内に就労したい人は 75.0%、1年より先、または一番下の子どもが一定年齢になってから就労したい人は 25.0%である。

回答対象者：パート・アルバイト等で就労している人

図表 124 フルタイムへの転換希望

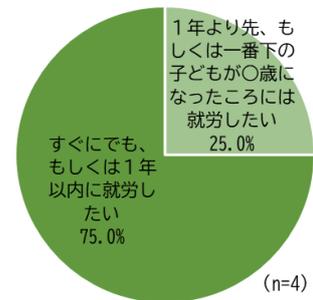
	人数	割合(%)
フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない	1	33.3
パート・アルバイトなどの継続を希望している	2	66.7
合計	3	100.0



回答対象者：現在就労していない人

図表 125 就労への希望

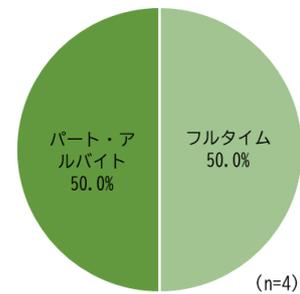
	人数	割合(%)
1年より先、もしくは一番下の子どもが〇歳になったところには就労したい	1	25.0
すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	3	75.0
合計	4	100.0



回答対象者：就労希望がある人

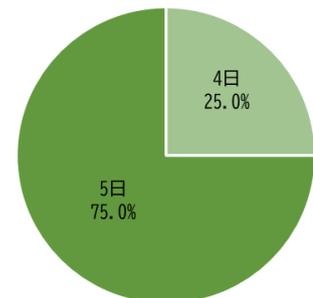
図表 126 希望する就労形態

	人数	割合(%)
フルタイム	2	50.0
パート・アルバイト	2	50.0
合計	4	100.0



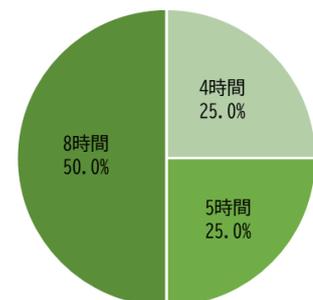
図表 127 1週あたりの希望就労日数

	人数	割合(%)
4日	1	25.0
5日	3	75.0
合計	4	100.0



図表 128 1日あたりの希望就労時間

	人数	割合(%)
4時間	1	25.0
5時間	1	25.0
8時間	2	50.0
合計	4	100.0

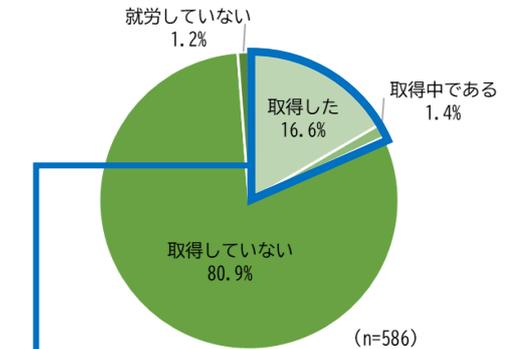


(12) 父親の育児休業

- 育児休業を取得した、または取得中であると回答した人は 18.0%である。
- 取得期間は「1ヶ月未満」の割合が 50.0%で最も高い。
- 取得理由は「積極的に育児参加したいため」と答えた人の割合が 60.6%で最も高く、次いで「母親や家族の希望のため」が 52.9%、「職場の制度や理解が進んでいて取得しやすかったため」が 37.5%である。

図表 129 育児休業の取得状況

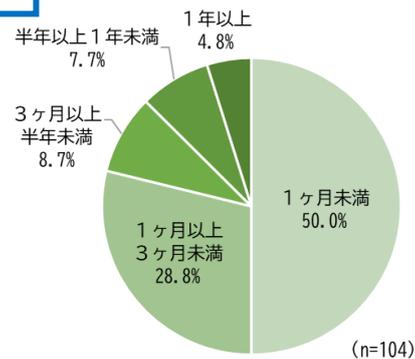
	人数	割合(%)
取得した	97	16.6
取得中である	8	1.4
取得していない	474	80.9
就労していない	7	1.2
合計	586	100.0



回答対象者：取得した、または取得中の人

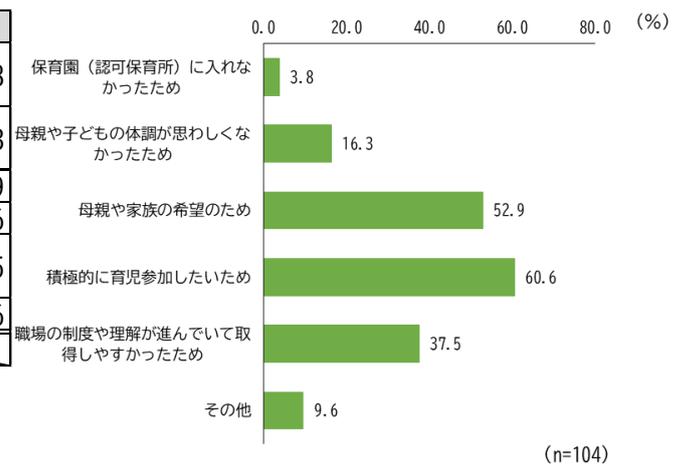
図表 130 育児休業の取得期間

	人数	割合(%)
1ヶ月未満	52	50.0
1ヶ月以上3ヶ月未満	30	28.8
3ヶ月以上半年未満	9	8.7
半年以上1年未満	8	7.7
1年以上	5	4.8
合計	104	100.0



図表 131 取得した理由（複数回答）

	人数	割合(%)
保育園（認可保育所）に入れなかったため	4	3.8
母親や子どもの体調が思わしくなかったため	17	16.3
母親や家族の希望のため	55	52.9
積極的に育児参加したいため	63	60.6
職場の制度や理解が進んでいて取得しやすかったため	39	37.5
その他	10	9.6
回答者数	104	

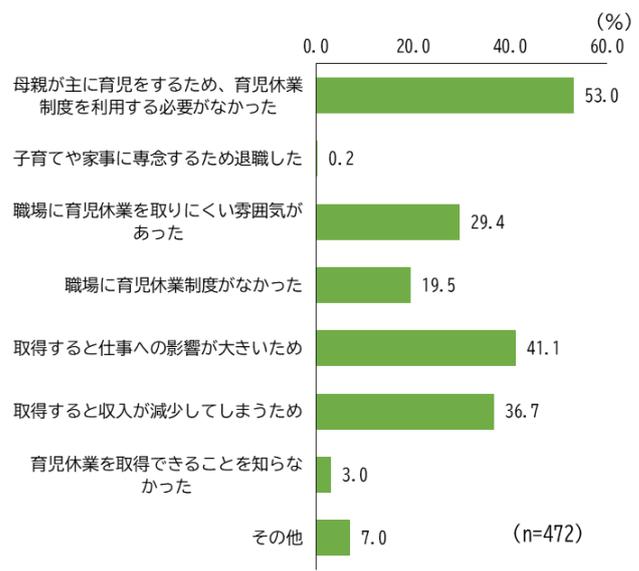


- 育児休業を取得していない人にその理由を尋ねると、「母親が主に育児をするため育児休業制度を利用する必要がなかった」と答えた人の割合が 53.0%で最多であり、次いで「取得すると仕事への影響が大きい」が 41.1%、「取得すると収入が減少してしまうため」が 36.7%、であった。

回答対象者：取得していない人

図表 132 取得していない理由

	人数	割合(%)
母親が主に育児をするため、育児休業制度を利用する必要がなかった	250	53.0
子育てや家事に専念するため退職した	1	0.2
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	139	29.4
職場に育児休業制度がなかった	92	19.5
取得すると仕事への影響が大きい	194	41.1
取得すると収入が減少してしまう	173	36.7
育児休業を取得できることを知らなかった	14	3.0
その他	33	7.0
回答者数	472	

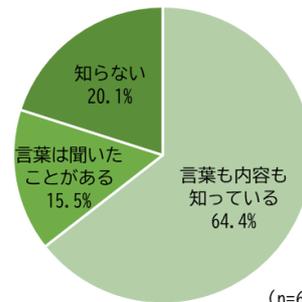


(13) ヤングケアラー

- ヤングケアラーについて、「言葉も内容も知っている」と答えた人の割合が64.4%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」が15.5%、「知らない」が20.1%である。
- 身近にヤングケアラーと思われる人がいた場合の対応方法としては、「本人に様子を聞く」と答えた人の割合が51.1%で最も高い。

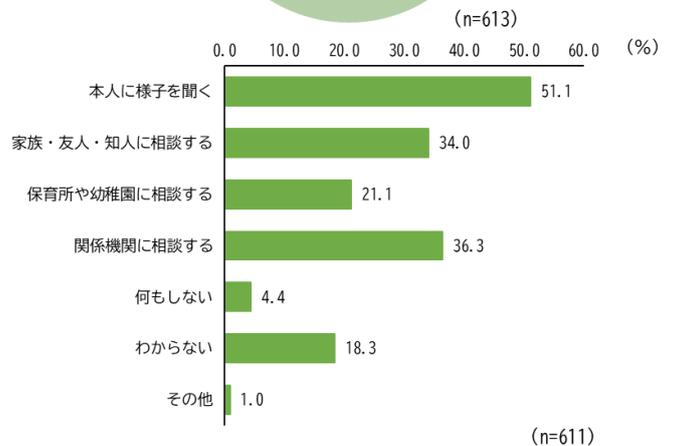
図表 133 「ヤングケアラー」という言葉の認知度

	人数	割合(%)
言葉も内容も知っている	395	64.4
言葉は聞いたことがある	95	15.5
知らない	123	20.1
合計	613	100.0



図表 134 ヤングケアラーへの想定される対応方法

	人数	割合(%)
本人に様子を聞く	312	51.1
家族・友人・知人に相談する	208	34.0
保育所や幼稚園に相談する	129	21.1
関係機関に相談する	222	36.3
何もしない	27	4.4
わからない	112	18.3
その他	6	1.0
回答者数	611	



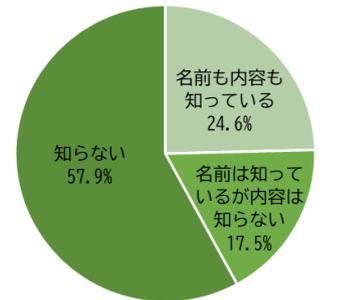
(14) こども誰でも通園制度

回答対象者：0～2歳で保育園等に通っていない子どもがいる人

- 「こども誰でも通園制度」について、「名前も内容も知っている」と答えた人は24.6%、「名前は知っているが内容は知らない」と答えた人は17.5%、「知らない」と答えた人は57.9%である。
- 制度を「とても利用したい」は17.3%、「できれば利用してみたい」は48.0%で、合わせると65.3%である。
- 利用を希望する理由としては、「育児疲れの軽減」と答えた人の割合が44.6%で最も高く、次いで「自分の自由時間を作るため」が43.6%、「求職活動のため」が19.8%である。

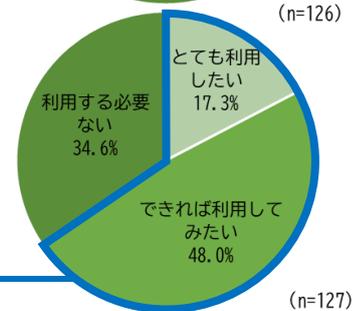
図表 135 「こども誰でも通園制度」の認知度

	人数	割合(%)
名前も内容も知っている	31	24.6
名前は知っているが内容は知らない	22	17.5
知らない	73	57.9
合計	126	100.0



図表 136 「こども誰でも通園制度」の利用意向

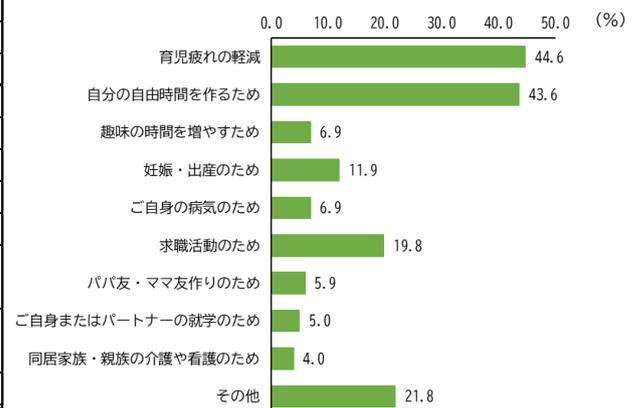
	人数	割合(%)
とても利用したい	22	17.3
できれば利用してみたい	61	48.0
利用する必要はない	44	34.6
合計	127	100.0



回答対象者：利用を希望する人

図表 137 利用を希望する理由

	人数	割合(%)
育児疲れの軽減	45	44.6
自分の自由時間を作るため	44	43.6
趣味の時間を増やすため	7	6.9
妊娠・出産のため	12	11.9
ご自身の病気のため	7	6.9
求職活動のため	20	19.8
パパ友・ママ友作りのため	6	5.9
ご自身またはパートナーの就学のため	5	5.0
同居家族・親族の介護や看護のため	4	4.0
その他	22	21.8
回答者数	101	

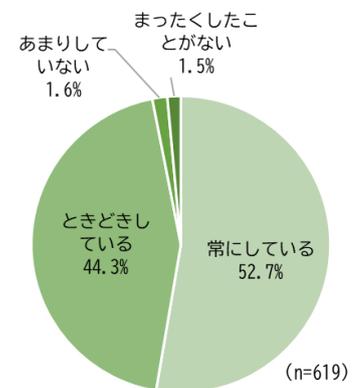


(15)「子どもの権利」

- 子どもからの意見や要望を取り入れるように意識しているかを尋ねると、「常にしている」と答えた人の割合が52.7%と最も高く、次いで「ときどきしている」が44.3%である。
- 「子どもの権利」について、「名前は知っているが内容は知らない」が42.4%で最も高く、次いで「名前も内容も知っている」と答えた人の割合が34.9%、「知らない」が22.7%である

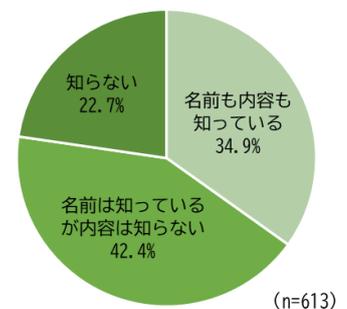
図表 138 子どもからの意見や要望を取り入れるように意識しているか

	人数	割合(%)
常にしている	326	52.7
ときどきしている	274	44.3
あまりしていない	10	1.6
まったくしたことがない	9	1.5
合計	619	100.0



図表 139 「子どもの権利」の認知度

	人数	割合(%)
名前も内容も知っている	214	34.9
名前は知っているが内容は知らない	260	42.4
知らない	139	22.7
合計	613	100.0

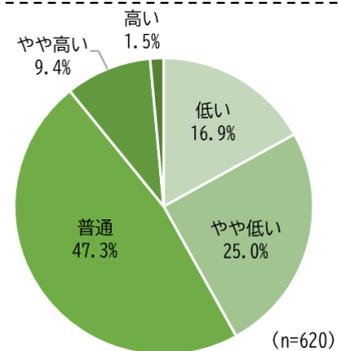


(16) 子育て全般

- ・ 小諸市における子育ての環境や支援の満足度は、「普通」の割合が47.3%で最も高い。
- ・ 「低い」は16.9%、「やや低い」は25.0%で、合わせると41.9%である。
- ・ 子育ての環境や支援に関する自由記述では、様々な要望が見られた。

図表 140 小諸市における子育て環境・支援への満足度

	人数	割合(%)
低い	105	16.9
やや低い	155	25.0
普通	293	47.3
やや高い	58	9.4
高い	9	1.5
合計	620	100.0



図表 141 自由記述欄に多く見られた要望

保育園の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士の確保と保育園への受け入れ拡大 ・ 育休退園制度の撤廃 ・ 長期休暇期間中や土日祝日の負担軽減
子育て支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一時預かりやファミリーサポート事業の利用枠の拡大、低料金化
病児保育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手続きの簡略化
子育て応援チケット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増額や定期的な配布
保育料・副食費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳未満児の保育料の負担軽減 ・ 3歳以上児の副食費無償化
医療費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの医療費の無償化 ・ 妊婦の医療費の低料金での定額化
子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室内の遊び場の充実 ・ 公園・プールの整備 ・ こもロッジの日曜日・祝日利用や利用対象者の拡大 ・ 児童館利用料の無償化
子育て支援情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援情報の集約化、わかりやすい発信

(17) 属性等によるクロス集計結果

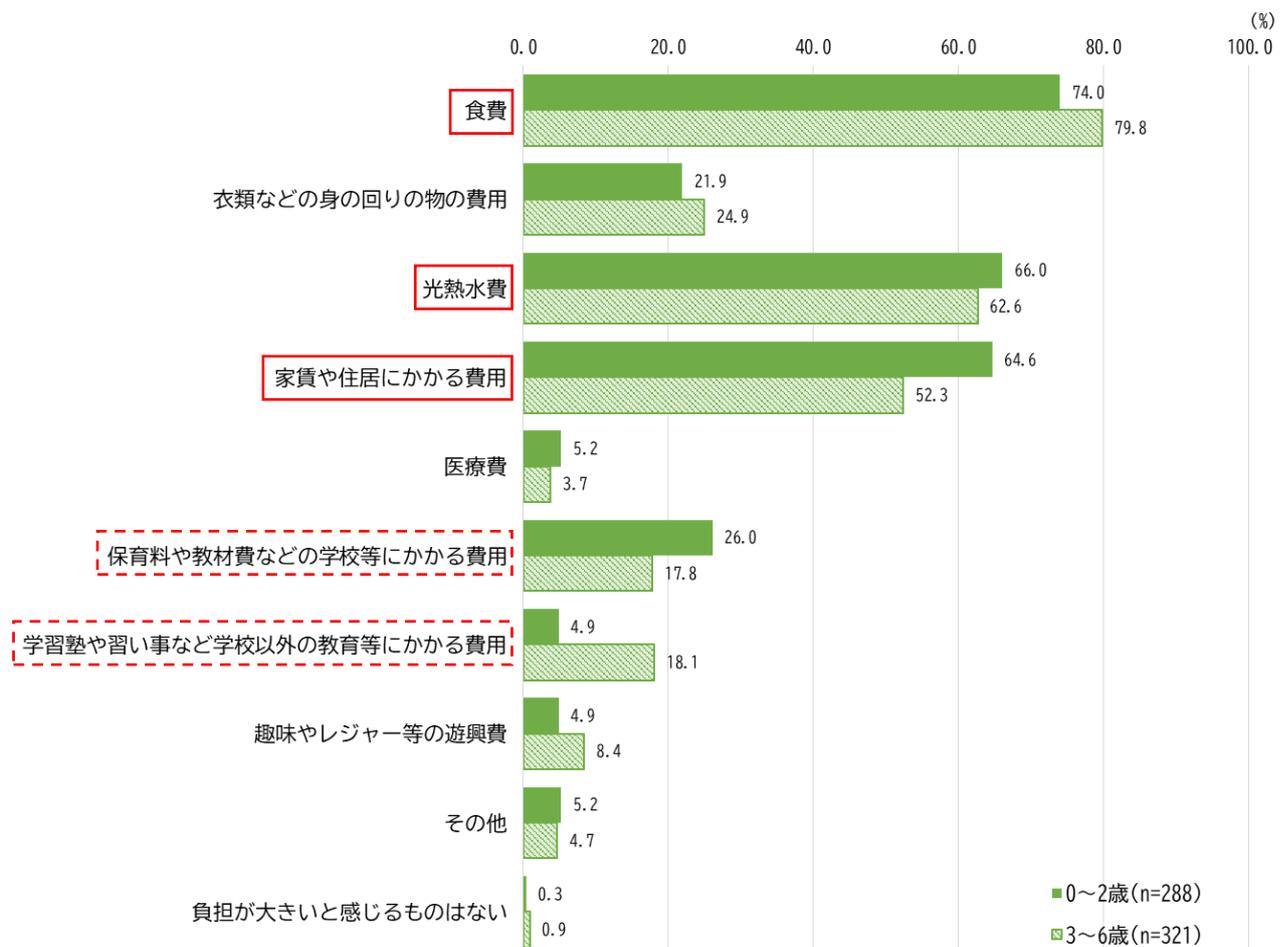
- 配偶者の有無別に、気軽に相談できる人や場所の有無をみると、配偶者がいない人の方が、配偶者がいる人に比べて、相談相手や相談場所がない場合が多くなっている。

図表 142 気軽に相談できる人がいるか／場所があるか（配偶者の有無別）



- 子どもの年齢別に負担が大きい支出をみると、どちらの場合も「食費」、「光熱水費」、「家賃や住居にかかる費用」の順に、割合が高くなっている。
- 「保育料や教材費などの学校等にかかる費用」は、特に0～2歳児の保護者で特に負担感が大きくなっている。一方、「学習塾や習い事など学校以外の教育等にかかる費用」は、特に3～6歳児の保護者で負担感が大きくなっている。

図表 143 負担が大きい支出（子どもの年齢別）



- 子どもの年齢別に、子育てをするうえで感じる悩みや不安の内容をみると、どちらの場合も最も割合が高いのは「病気や発育・発達に関すること」で、次いで、2歳以下の子どもの保護者では「食事や栄養に関すること」、3歳以上の子どもの保護者では「子どもの教育に関すること」が続く。
- 2つの層を比較して、特に2歳以下の子供の保護者からより多く挙げたのは「育児のことがよくわからないこと」や「仕事や自分のやりたいこと、夫婦で楽しむことなど自分の時間がとれないこと」といった項目である。一方、特に3歳以上の子どもの保護者からより多く挙げたのは「子どもと過ごす時間が十分とれないこと」や「子どもの友だちづきあいに関すること」などである。

回答対象者：悩みや不安が「ある」または「ときどきある」と回答した人

図表 144 子育てをするうえで感じる悩みや不安の内容（子どもの年齢別）

